

岡山県立岡山朝日高校

高い志 ～限界の先へ～

取組等の概要



JAXA（はやぶさの研究開発等）訪問



東京大学研究室（10コース）訪問



イギリス研修

1 東京大学・医学部など最難関大学への進学実績と社会性を涵養する取組

- ①「高い志」をキーワードに、ハイレベルな教師陣による組織的で丁寧な指導
 - ・限界に挑戦し、「入れる大学」ではなく「入るべき大学」への挑戦
- ②「大学の向こう側の社会」を意識した、深い学びへと誘う活動
 - ・トップリーダーとして活躍する卒業生から学ぶ各種講座、先輩方の案内によるJAXA・東京大学の体験研修など、本物に触れ、本質を探究する機会を提供
- ③「文武両道」の実践と充実した学校行事
 - ・県内最多を誇る部・同好会数（運動部16・文化部21・同好会5）
 - ・全校生徒が燃える朝日祭や60年を超える伝統を持つ富士登山

2 新たな社会を牽引し世界の未来を拓く人材の育成

- ①イギリス研修・理科系重点校との姉妹校締結
 - ・姉妹校（モンクス・ウオークハイスクール）で体験する共同プレゼンテーション
 - ・ケンブリッジ大学で行われるサイエンスフェスティバルへの参加
- ②世界への挑戦 ～全国大会から国際大会へ～
 - ・国際物理オリンピック（金メダル獲得 H30）、国際化学オリンピック（銀メダル獲得 H29）、日本生物学オリンピック(R1)、日本数学オリンピック(銅賞 R1)
 - ・最新の科学を学ぶシドニー大学の国際科学学校へ日本代表として参加（R1）
 - ・ダンス部の国際大会（ミスダンスドリル in USA）での活躍（総合2位 H30）
 - ・Stanford e-Japanプログラムへの参加(R1・R2)

※新型コロナ対応のため、直接体験できない活動は、リモート等の導入で価値ある活動に組み替えます。

岡山県立岡山操山高校

操山から世界へ ～SGHからWWLへ～

取組等の概要



授業や課題研究にchromebookを活用



総合的な探究の時間「未来航路」の課題研究発表会

岡山操山高校では、次代を担う高い志を持ち、未来の岡山と世界のWell-being（すべての人の幸福）の実現に貢献する真のグローバル・リーダーの育成を目指しています。

今年度より新たに文部科学省のワールド・ワイド・ラーニング（WWL）コンソーシアム構築支援事業カリキュラム開発拠点校に指定され、持続可能な開発目標(SDGs)と関連付けた学びを充実させていきます。



SOZAN国際塾生とスタンフォード大学の学生とのオンラインによる意見交換

生徒は1人1台ノートパソコン（chromebook）を授業や課題研究に使用しています。オーストラリアの姉妹校やアメリカの大学生ともオンラインで交流を深めていくことが可能です。

操山から世界へ。操山生はこれから新しい世界にチャレンジしていきます。

岡山県立岡山芳泉高校

デジタル×パフォーマンス＝ 芳泉高校芸術科合同発表会

取組等の概要



作曲の様子（音楽）



映像編集の様子（美術）



合同発表会でのパフォーマンス
（書道）

○概要

本校の芸術科の授業では、生涯を通して芸術を愛好する心情を高めるための取り組みとして、音楽ではボーカロイドを使った作曲活動、美術ではMacを使ったデジタル表現、書道では書道パフォーマンスを授業内で行います。各科目での取り組みの集大成として、それぞれの表現を融合した「芸術科合同発表会」を開催しています。

○取り組みの手順

- 準備・・・共通テーマをもとに、音楽選択者は音楽を作曲、美術選択者は映像制作、書道選択者は文章を考えパフォーマンスの練習を行う。
- 発表会当日・・・美術選択者が制作した映像を大きな紙に映す。
書道選択者が映像を背景に紙面でパフォーマンスを行う。
音楽選択者の作曲した音楽をBGMとして流す。
グループごとの発表を互いに鑑賞しあう。

○取り組みの目標

共通テーマをもとに、各科目・各グループが制作したものをかけ合わせたり鑑賞しあったりすることで、互いの良さについて語り合い、芸術の多様な表現の可能性について体感する。

岡山県立岡山一宮高校

SSH
Super Science Highschool

スーパーサイエンスハイスクール ユネスコスクール



一高で育つ探究心 ～全校で取り組む課題研究～

取組等の概要



研究の様子



普通科・理数科合同課題研究発表会



全国2位に輝いたチームの発表

○取組の目標

岡山一宮高校は、17年間SSH指定校として、10年間ユネスコスクールとして主体的な探究活動に取り組んでいます。

「探究の一宮」を目標に掲げ、将来、サイエンス・グローバル・社会貢献の視点を持って大学や社会で活躍できる人材を育成します。

○取組の特徴

- 1 企業・研究機関との連携による深い学び
- 2 本物にふれる経験（東大・京大・岡山大での指導）
- 3 垣根（学年・文理・学校）を越えた協働的な探究
- 4 全ての教科で探究型授業を実践し研究に繋げる

○取組の概要

課題研究は、大学教授等の指導や3年生の助言を受けて進めます。
グループ研究を基本とし、3年では個人での継続研究もできます。

◇普通科（2年）…教科の学びを社会的課題の解決につなげる

- ・広くSDGsに関わる課題を設定し、文理を統合して探究する。
- ・ポスター作成・発表の技能を身につける。

◇理数科（2年）…先端研究に触れ、専門性を高める

- ・設定した課題に対して仮説検証を行い探究活動を行う。
- ・プレゼンテーション、科学論文作成の技能を身につける。

岡山県立岡山城東高校

「ステージは『世界』だ！」

～グローバルリーダーを育てるオンリーワンの教育を展開しています～

取組等の概要



マレーシア
(独立広場にて)



韓国（慶南外国語高校）
との交流



1年 企業訪問（中国銀行）

「ステージは『世界』だ！」～岡山発グローバルリーダーの育成～という取組の中で、グローバルな視点を持ちながら地域に根差し地域社会を支える人材、郷土や日本への貢献意識を持ちながら国際社会で活躍する人材の育成をめざし、地域との協働を図りながら、様々な国際交流プログラムを展開しています。県内の企業訪問や地域課題についての課題研究を進める一方、希望すればすべての生徒が1年次、2年次で海外体験の研修に参加することができます。また、海外交流校の来校や長期留学生の受け入れなどにより、海外の高校生と一緒に学校生活を送ったり、ホームステイに協力したりすることで、日本にいながらにして異文化体験をすることができます。

○企業訪問

・1年次生全員、県内のいずれかの企業を訪問し、地域の企業の取組や工夫、課題等をSDGsの視点から学びます。

○海外文化体験研修

- ・参加者及び期間 1年次生希望者 15日間
- ・国（地域） カナダ（バンクーバー）、オーストラリア（ブリスベン）
- ・活動内容 ホームステイ、少人数英語クラスでの研修や大学、高等学校訪問等

○学類研修（修学旅行にあたる行事）

- ・参加者及び研修地（令和元年度実績）
2年次生 国際教養学類の全員（韓国）、音楽学類の全員（台湾）
人文社会学類・理数学類の選択者（マレーシア）
- ・活動内容 現地高校との交流、現地大学生との自主研修、博物館等市内視察等

○海外高等学校との交流

- ・姉妹校 慶南外国語高等学校（韓国）、金海外国語高等学校（韓国）
- ・受け入れ 9月、10月に来岡、ホームステイ、授業参加、交流会
- ・訪問 6月学類研修で国際教養学類が訪問、高校の寮に宿泊、授業参加等
- ・その他 スカイプによる交流

○留学

- ・受け入れ ドイツ人男子生徒（平成30年9月～令和元年6月）、ドイツ人女子生徒（令和元年9月～令和2年4月）
- ・長期留学 3年次生徒がニュージーランドの高校へ留学（平成31年3月～令和2年1月）

○自主的な社会貢献活動

- ・地域のボランティア活動を積極的に紹介し、生徒が自主的に申込み、参加しています。

岡山県立西大寺高校

魅力ある**海外短期研修** 毎年約100名の生徒が国際交流を体験！

取組等の概要



バディーと一緒に



現地小学生との交流会



バスツアー

本校では、コミュニケーション能力・語学力の育成、異文化理解によるグローバル教育の取組をととして、自分の明確な目標を持ち、果敢にチャレンジし、郷土岡山や日本の歴史・文化を理解するとともに、他国の伝統文化をも理解し交流する、国際感覚を持った人材育成を進めています。

語学力の育成、異文化理解を体験的に進める取り組みとして、3月に海外での短期研修を実施しています。今年度はオーストラリア・ブリスベンにて、令和3年3月5日～3月18日の14日間を計画していましたが、新型コロナウイルス感染予防のために中止となりました。来年度は実施できるように、準備を進めています。

国際情報科の生徒に加えて普通科・商業科からの希望者も多く、毎年100名近くの生徒が参加しています。県内の県立高校では海外短期研修の参加者が多い高校の一つです。

参加した生徒は、ブリスベン近郊のホストファミリー宅にホームステイしながら、平日は現地の4つの高校に分かれて語学研修や交流授業をととして、週末にはホストファミリーとの交流をととして、コミュニケーション能力の向上を図るとともに異文化理解を深めています。

40万円程度の経費が必要ですが、「岡山の高校生留学支援事業」等の制度を活用して、負担軽減を図ることもできます。

参加した生徒は、自分の意思を明確に示すことの大切さを学び、日常会話を含む英語への学習意欲が向上するなど多くの成長が見られ、本校の進めるミッションの重要な取組となっています。

岡山県立瀬戸高校

経済産業省・文部科学省主催キャリア教育推進連携表彰優秀賞受賞

瀬戸高×SDGs

「好き」を極めてイノベーション！

「6つの力」を身に付けると…

取組等の概要



アフリカ布×デニムのポーチから新しいビジネスを提案しました！



データから防災を考え全国で発表しました！



生徒国際イノベーションフォーラム（OECD協力）の総司会を英語で頑張りました！

受けとる力

伝える力

つながる力

考える力

を見つける力

より良くなろうとする力

○イノベーター（社会の動向を変える人）になれる！

- ・アフリカ布×デニムのポーチ【公平・公正な社会をつくるビジネス】
- ・桃鯊【ブリに桃を食べさせて、岡山に新しい養殖業を】
- ・パパパーン【廃棄されるブロッコリーをおいしいパンに入れてみた】
- ・#「なまず定食」始めました【ナマズってあっさりしていておいしい。新しい養殖業】
- ・#理学療法士を学校に置いてみた【一生の健康と理学療法士の新しい働き方を】

○「一生モノの学び」がある！

世界最新のエリート教育「**デザイン思考**」が、1年「セト☆ラボ」・2年「SDGs☆ラボ」・3年「Dream☆ラボ」で身に付けられる。

○「瀬戸高の先生」にたくさん出会える！

- ・岡山大学からラボやフェスに来てくれる！
- ・東京大学発「**頭が良くなる授業**」してます！
- ・イノベーションは地域や企業の方が一緒に考えてくれるから大丈夫！
- ・世界国際イノベーションフォーラムの総司会は、世界中の先生がサポート！



○「新しい入試」「未来」に対応できる！

- ・総合型選抜や学校推薦型選抜の入試で岡山大学・広島大学に合格できる！

岡山県立高松農業高校

県下で唯一の「乳牛研究部」

取組等の概要



2017中国B & Wショウ
第3部チャンピオン牛に輝き
地域酪農関係者と記念撮影



2018オールジャパン
B & Wショウにて



2019セントラルジャパン
B & Wショウにて

本校の乳牛研究部は、乳牛であるホルスタイン種の飼育を追求している部活動です。乳牛の飼育は、奥が深く追求すればするだけ次の課題を突きつけられる毎日です。今年度は出場予定があった、5年に1度の「全日本ホルスタイン共進会」が中止となりました。共進会とは「美牛のコンテスト」です。乳牛にも美牛たるものが存在します。美牛を求め、美しく歩かせるための練習やムダな皮下脂肪を落とすための歩行運動や牛の毛艶をよくするための牛体洗いや飼料給与の管理などに毎日取り組んでいます。これが「乳牛研究部」です。

みなさん、新型コロナウイルスに負けないで、お互いに頑張りましょう。牛乳の消費もよろしくお願いします。「乳牛研究部」に興味があれば、中学生のみなさん、ぜひとも高松農業高校 畜産科学科へ！！

岡山県立興陽高校

進化する農業教育、多様化する進路実現

取組等の概要



籾播きから稲刈りまで学習



G P S 可変施肥田植機実習



農場管理ソフトでの圃場実習

○取組の目標

地域に根ざした農業教育を展開をしつつ、その中で人間としての素養を磨き、地域に貢献できる人材を育成しています。国立大学等の大学進学を見据えた教育課程の展開や、個々の能力に合わせた進路実現を目標としています。

○取組の特徴

現在、農業の世界では、技術革新の波が押し寄せてきています。いわゆる「スマート農業」が農業の世界のイメージを変えつつあります。本校では、農業の基本を大切にしつつ、時代のニーズに合った先進的な技術を導入しています。生徒たちは額に汗して自己研鑽を積み、自己実現のためにステップアップしています。

○取組の概要

学習展開では、学年進行で基礎基本から発展した内容の学習を進めています。一年次の手植えの田植えから始まり、可変施肥付き田植機の運転、G P S 付きトラクタ等による実習、水田管理のための「アグリノート」活用、食味装置の付いたコンバインでの実習等、今までに無い技術を利用して最新の農業教育を展開しています。

この実習を通して生徒達は、誇りを持って学習活動に励み、なりたい自分を発見しつつ、それに向かった進路を自ら決定して実現しています。国立大学への進学や私立大学農学部への進学をはじめ、より発展した学習を続ける生徒もいます。就職活動にも力を入れ、なりたい自己を実現しています。

攻めの「川柳委員会」

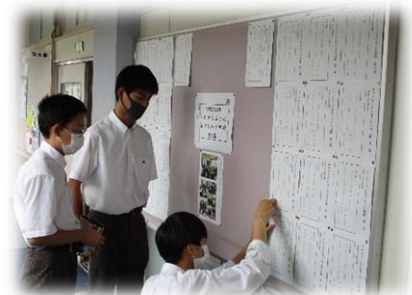
取組等の概要



外部講師による選句指導



句集「しくらめん」



校内掲示

○取組の目標

- 川柳の創作を通して、生徒の表現力を高め、感性を磨く。
- 優秀作品の掲示や句集『しくらめん』の発行で、互いを認め合う。
- 川柳を通じて心を一つにし、“瀬戸南家族”の結束を高める。
- 瀬戸南高生ならではの、世の中をちょっと明るくする情報発信。
- 川柳全国大会へのエントリー。

○取組の特徴

- 1 川柳委員会がリーダーシップを発揮（生徒・教職員全員で取り組む）
- 2 季節ごとに兼題を設定して川柳を募集、外部選者による優秀作品の選定
- 3 時代の流れを先取りする特別企画の立案

○取組の概要

- ★ 長期休業中 “春の川柳・夏の川柳・冬の川柳”
- ★ 特別企画 “期末考查応援川柳・十八歳選挙権川柳・元号川柳”
- ★ 臨時休校特別企画 “コロナに負けないぞ川柳”
（「コロナに負けない」「休み中の過ごし方」「学校再開」「マスク」）
- ★ 文化祭でのステージ発表や展示発表 “インスタ川柳・タピオカ川柳”
- ★ 句集「しくらめん」発行とHPでの川柳紹介

岡山県立岡山工業高校

高等学校魅力化推進事業

Okako Creative Project

～STEAM教育による、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成～

取組等の概要



1年 ミックスクラス
＜OCP入門＞



2年 総合的な探究の時間
＜OCP I・II＞



3年 課題研究
＜OCP実践＞

○取組の目標

課題解決能力の育成をはかる「**Okako Creative Project**」に学年進行で取り組むことにより、柔軟な発想とアイデアを育み、これからの時代に対応できる資質や能力を身に付けた人材を育成します。

○取組の特徴

- 1 言語能力・情報活用能力の育成
・教科横断連携 ・ICT活用授業 ・主体的、対話的で深い学び
- 2 課題発見・解決能力の育成
・学年進行による**OCP**の取組
- 3 学びに向かう力・人間関係形成能力の育成
・外部機関や企業との連携 ・各種競技会やコンテストへの挑戦 ・異校種間連携

○取組の概要（OCP）

- ・1年生では「LHRの時間」を使い、ミックスクラスのチームでブレインストーミングやKJ法などの思考ツールの活用を経験し、仲間と協力してアイデアをまとめる力を育成します。
- ・2年生では「総合的な探究の時間」で、ミックスクラスのチームで様々な課題解決演習に取り組み、課題発見・解決能力を育成します。
- ・3年生では「課題研究」において、これまでに身に付けた専門的な知識や技術を使って、地域貢献や先端的な技術にチャレンジし、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成します。

岡山県立東岡山工業高校

EVシフト



取組等の概要

東岡山工業高校なら幅広く・深く学べる専門5科

M 機械科

E 電気科

C 工業
化学科

R 電子
機械科

S 設備
システム科



本校では電気自動車(EV)を起点として、バッテリーやスマートハウスのことを各専門科で学んでいます。将来は「スマートシティ構想」に貢献できる人材に成長する事を目指しています。



電気を動力に

EV化イベントにてミニ講義を実施!! in岡山県庁



次世代へと、つながるEV
を学びませんか?
東工へおいでよ!



地球に優しい熱の再利用



ゴミをエネルギーに変える



科学で電気を作る



光を電気に変える



風を電気に変える

中学生の皆さんへ

「ものづくり」「資格取得」「部活動」とおして、君たちの夢づくりを応援します!

楽しいスクールライフを送りましょう!

岡山県立岡山東商業高校

日商簿記 1 級プロジェクト

～高崎商科大学との高大連携事業Haul-Aプロジェクト～

取組等の概要



高大連携事業の調印式



日本商業教育振興会の会計サポート



Web講義での解説動画視聴

○取組の目標

Haul-A（ホール・エー）プロジェクトは、高校・大学の7年間の商業教育を通じて、職業人（公認会計士、税理士、企業会計人）として社会貢献する人材を育てることを目標としています。その一環として、高校生の段階で大学卒業レベルといわれる日商簿記1級を取得できるように“日商簿記1級プロジェクト”を実践しています。商業科で学ぶ生徒が簿記会計を通じて、自分らしく地域社会に貢献したいという夢と希望を実現することを目的に、難関試験に向けて努力し、日商簿記1級合格を目指します。

○取組の特徴

- 1 高崎商科大学の提供する日商簿記1級講座を活用し、学習進度にしたがってWeb講義を視聴できます。
- 2 Web講義の視聴状況を、授業担当の教諭が定期的に確認できます。
- 3 Web講義、テキスト、問題集に関する質問事項は、生徒が日本商業教育振興会の会計サポート上に質問を投稿することにより、回答を直接受け取れます。

○取組の概要

まず、1年生が、Web講義の視聴、テキスト、問題集の活用により、日商簿記検定3級の全員合格を目指します。2年生では、会計コース及び受験希望者全員が日商簿記検定2級の合格を目指します。

更に、日商簿記1級プロジェクトにより在校中の1級合格を目指します。

フラワーベビープロジェクト

取組等の概要



フラワーベビー誕生！



子育てしながら授業



昼食も一緒

○取組の目標

乳児との関わりを疑似体験する中で、保育の大変さや重要さを知ることができます。また、自分が親になるということを考えるとともに、自己理解を深めます。

○取組の特徴

- ・全学科（家庭学科・商業学科）生徒が家庭科の授業において実施。
- ・1限目～6限目まで1日中、フラワーベビーを抱いて学校生活を送る。
- ・生活創造科2年生は、学校・家庭で休日を含む1週間連続のお世話に取り組む。

○取組の概要

〈フラワーベビーの誕生〉

黄色い大きな風船に出生時の体重に合わせた小麦粉を入れ、赤ちゃんを誕生させます。親としてベビーのお世話をするという決意を固めます。

〈フラワーベビーとの生活〉

養育ルールに従い、それぞれが責任をもって自分のベビーをお世話します。実施前後に自分が感じたことは、ベビージャーナルに書き留めます。

〈ディスカッションで考えを共有〉

実施後の授業において、このプロジェクトを通し感じたことをクラスで共有します。子育て体験から、自分自身の新たな一面に気づくことができます。

岡山県立岡山御津高校

新制服総選挙を実施！

～生徒がデザインを手がけた試作制服
生徒の企画によるファッションショーで披露～

取組等の概要



新制服デザイン検討の様子



各グループによるプレゼン



ファッションショー＆制服総選挙の様子

○学科改編に伴う制服の一新

本校は、急速に変化する社会と今後の次代を見据えた人材育成へのさらなる対応を目指し、令和3年度入学生より総合学科から、学校独自の「キャリアデザイン科」に改編します。その新しい学科と新しい学びに併せ、平成17年の開校以来16年間続いた制服も一新することとなりました。

○制服検討委員会による取組の特徴

- 1 生徒会を中心とした生徒と教員による協働
- 2 全校生徒の思いを反映した活動の重視
- 3 学校運営協議会関係者の協力と地元学生服メーカーとの連携
- 4 オープンスクールによる制服総選挙の実施
- 5 岡山御津高校で身につけてもらいたい4つの資質・能力の育成



試作サンプル品

○制服検討委員会取組の概要

- 4月上旬 メーカーによる制服についての講義
- 4月下旬 コンセプト決定・発表／新制服スタイル検討
- 5月中旬 新制服デザイン検討
- 5月下旬 基本デザイン決定
- 6月上旬 ワッペンデザイン・付属アイテムの検討
- 6月中旬 ワッペンデザイン決定／付属アイテムの決定
- 7月中旬 試作サンプル品の確認
- 7月下旬 ファッションショー企画決定及びリハーサル
- 8月6日(木) 第1回オープンスクール

ファッションショー＆新制服総選挙開催！

試作新制服4パターン(1パターン男女・冬夏×4=16着披露
投票結果は、在校生・保護者・教員・学校運営協議会委員の方
の投票と合わせて新制服を決定しました。詳しくは当校のホーム
ページをご覧ください。

この取組で

身につけてもらいたい資質・能力

●確かな学力

- ・主体的に学ぶ力 ・基礎的、基本的学力
- ・深くバランスのよい学力

●ヒューマンスキル

- ・他者と協働する力 ・思いやりの心
- ・傾聴力 ・コミュニケーション能力

●健全なマインド

- ・自己肯定感 ・自己有用感
- ・自律心 ・スケジュール管理能力

●編集力

- ・議論する力 ・参画する力
- ・考える力 ・提案する力

岡山県立倉敷青陵高校

高質な学力の養成

～永遠の理想を追求する青春の^{おか}陵で知を拓く～

取組等の概要

倉敷青陵高校では、生徒が質の高い授業、国際交流や探究活動、学校行事などの教育活動全体で、生徒の主体的な学びへの挑戦を後押しし、グローバル社会に貢献できる高質な学力の養成に努めています。

○グローバルプロジェクト！

まだ自分の知らない世界を知り、自分の可能性に挑戦する「立志力」を高める

- ・アメリカ研修UCバークレー校
- ・AIG高校生外交官渡米プログラム
- ・グローバル事業報告会

校外の高難易度コンテストへの後押し

- ・国際科学オリンピック
- ・京都大学での探究活動発表会



UCバークレー事前研修

○SDGsの視点を取り入れた探究学習！

本物に触れ、社会や学問の最先端を体験協働的な学習により「学ぶ力」を磨く

- ・青陵探究
(自分の興味関心に応じたゼミ活動、
研究発表会と論文作成)
- ・Future Watching
(企業訪問、インターンシップ)



フィールドワーク、研究発表会

○教養を高め、知的探究心を育む取組！

最新の研究を学び、「高質な教養」を身に付ける

- ・土曜FW講座
(一歩前進を目指し、教養を高める土曜活用講座)
- ・東京大学の先端的な学問に触れる「金曜特別講座」
- ・科学研究等の分野で活躍されている研究者と対談し、
科学の面白さを学ぶ「青陵サイエンストーク」



土曜FW講座

岡山県立倉敷天城高校

スーパーサイエンスハイスクールの取り組み －米国のNASAや国内の各種大会で思う存分に力を発揮！！－

取組等の概要

倉敷天城高校では、今年、文部科学省から第4期のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の研究指定を受け、3期15年の実績の上に新たなスタートを切っています。将来、国際的に活躍できる科学技術系人材を育てることに力を入れており、国内や海外での発表の機会も多く、とても高い評価をいただいています。

皆さんも、倉敷天城高校でアクティブな高校生活を
一緒にエンジョイしてみませんか？

【写真1】米国海外研修
NASA JPLでの研修



【写真2】理数科高等学校
課題研究発表大会



【写真3】生物系フィールド
ワーク 夏の特別ラボ研修



【写真1】 上の写真は、スペースシャトル「エンデバー」号の前での記念撮影の様子で、実物展示の迫力は凄かったです。下の写真は、NASA のJPL（ジェット推進研究所）で、現地の研究スタッフと記念撮影した時のものです。

【写真2】 令和2年2月8日開催の第20回岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会で、2年連続で「ステージ発表優秀賞」を受賞し、岡山県代表に選出されました。

【写真3】 令和2年8月に、海岸実習を実施。強い日差しに負けないで、果敢に海の生物調査を行いました。海の海洋生物の分布を調べることで、水質調査ができることを体験した、有意義な研修でした。大きなウニも、とったぞー！！

岡山県立倉敷南高校

テーマは“ICT×グローバル”

取組等の概要

ICTの活用により、授業も新しいかたちとなり、そこでの学びもより深く、アクティブなものに変わります。全教室にプロジェクタ完備、教室タイマーや書画カメラも整備されています。



○ICTを活用したアクティブ・ラーニング

デジタル教材やソフトウェア、写真、映像を使用し、授業が分かりやすく工夫されています。授業がスムーズに進み、ペアワーク、グループワーク、ディスカッションなど話し合う時間を多く持てます。また、Chromebookを利用した双方向の授業で、アクティブに授業へ参加でき、理解度も上がります。



○コンピューター室2室、CALL教室

南高にはコンピューター室が2室、コンピュータを使って語学学習を行えるCALL教室もあります。全校でPC40台、Chromebook100台設置。また、主体的に学習に取り組めるよう、図書室を校に、ICTを活用したアクティブ・ラーニングのスペースとして「倉南ラーニングコモンズ」を整備しています。校内はどこでもラーニングスペースとなり、授業や探究学習が充実します。

●カシミア高校との姉妹校交流

本校は平成30年度に、倉敷市の姉妹都市であるニュージーランド・クライストチャーチ市のカシミア高校と姉妹校提携を結び、互いに生徒・教員の短期留学（派遣と受入れ）を隔年で行っています。継続的な交流を通して、日本とニュージーランドの友好親善を図るとともに、グローバルな視野と柔軟な思考力を身につけます。



○カシミア高校とのオンライン交流会

ほぼ毎月Google Meetを使ったオンライン交流によって姉妹校の絆を深め、お互いに学習する言語（英語・日本語）を用いてグローバル感覚を磨きます。



●カンボジア研修

平成27年度からカンボジア研修を行っています。本校2期生の高田晴行さんを記念した「高田晴行スクール」や日系企業を訪問し、よりグローバルな視点で将来の人生設計を行うきっかけとなります。

●グローバルチャレンジ

○短期海外留学へ挑戦

「トビタテ！留学JAPAN」「岡山県短期留学プログラム」「倉敷市姉妹都市訪問青少年生活体験談」「岡山県日中教育交流」（上海）など

○コンテストへ挑戦

平成30年度岡山県高校生英語ディベート大会で優勝、準優勝と上位を本校が独占し、全国大会へ！

岡山県立倉敷古城池高校

「水島プラットフォーム」プロジェクト

取組等の概要



キックオフミーティング



生徒の発表

倉敷古城池高校では「総合的な探究の時間」で、水島地域の方々に大変お世話になりながら、色々な活動をさせていただいています。水島地域での、本格的な活動は、今年度で3年目になり、先輩方から様々な活動を引き継いで取り組んでいます。これらの活動に加え、積極的に取り組んでいる活動が水島地域の振興への協力です。水島地域は、コンビナートがある一方で、隣接する商店街はかつての賑わいがなくなっています。そこで、昨年度、古城池発の水島地域振興に向けたプロジェクトチームを関係団体の協力を得て立ちあげました。それが、「水島プラットフォーム」です。

水島地域に新たに完成したホテルに長期滞在するコンビナートのメンテナンス業者の人々に水島地域の良さに触れてもらい、水島地域振興のための「関係人口」にいざなうことを目的としたプロジェクトです。今年度は、水島の魅力を紹介する動画をDVDやインターネットで視聴可能にしたり、それらをPRするチラシやフリーペーパーの作成、そして、水島地域の人々とのコミュニケーションの機会を創り出すための「スタンプラリー」の用紙などをホテルに置かせてもらうことを活動の目標にしています。



水島地域を紹介した冊子



岡山県立倉敷中央高校

地域とつながる 世界とつながる

取組等の概要

☆地域連携プロジェクト☆

倉敷中央高校では、総合的な探究の時間を活用した「水島学習」、地域の方や大学生、中学生と一緒に地域課題について考える「ティーチン倉敷中央」などに取り組んでいます。

また、一人の「話し手」の方に対して一人の「聞き手」がじっくりとお話を伺う「聞き書き」も行っています。

☆「聞き書き」では、その方の歩んでこられた人生が浮かび上がるように文章をまとめていきます。取材、文章おこし、発表など、たいへんな作業ですが、貴重なキャリア教育につながっています。

「聞き書き」書き起こし作業



☆グローバルプロジェクト☆

倉敷中央高校の「グローバル」は、地域を学ぶことから始まります。

台湾の姉妹校との交流を通して、地域社会の問題点や産業的特徴、文化的魅力などについて学びを深め、グローバルな視点で地域社会に貢献する人材を育成します。



聖功女子高級中学来校 (R1.7)



絵はがき交流

岡山県立玉島高校

玉島高校から世界へ

取組等の概要



ルーマニア大使が来校



ベトナムでの交流会



中国高校生が来校

○取組の目標

S S H指定校（連続13年目）として「地域のリーダーとして活躍する科学技術系人材の育成」を目指して科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材、国際的に通用する人材の育成に取り組んでいます。

○取組の特徴

独自のカリキュラム開発、国際性の育成、地域連携、高大接続に取り組んでいます。

○取組の概要

- ・国際理解講座「E Uがあなたの学校にやってくる」において、全校生徒対象に在日ルーマニア大使館ヨシペル・エドワード全権公使に講演をしていただきました。（令和元年11月）
- ・希望者によるベトナム海外研修において、岡山大学農学部、両備トランスポートカンパニー、タツモと連携を図りながら研修を実施しました。（平成29年12月より毎年実施）
- ・カナダ・サレークリスチャンスクールとの姉妹校提携をしており、希望者によるカナダ研修（学校訪問）、webでのミーティングなどの交流をおこなっています。

岡山県立倉敷鷺羽高校

児島未来学

～児島地域で愛されるリーダーへ～

取組等の概要



コーディネーターによる授業の支援

地域コーディネーターとともに「ソーシャルキャンプ」実行委員会を行う様子。地域の窓口としてだけでなく、授業への支援もいただいている。



新しい価値観の創造を刺激する講師陣

ローカルデニムブランド「EVERY DENIM」代表 島田舜介氏による講演(1年次)。新しい価値観に基づいたブランド展開について語っていただいた。

「地域とつながって生きる力」の育成を目指

して、総合的な探究の時間を「児島未来学」と名付けて取り組んでいます。倉敷市地域おこし協力隊員を中心とした「地域コーディネーター」が、学校と地域の間に入り、活動の企画調整を行っていることが特色の一つです。また、地域課題の解決に向けては、従来の考え方にとらわれない「新しい価値観」に基づく解決策の提案を目指し、これまでにない斬新な取り組みを展開する方々を講師としてお招きし、できるだけ多彩な価値観にふれることができるように工夫しています。



児島地域の協力による多彩なフィールドワーク

1年次生が企画した「ソーシャルキャンプ」。地域コーディネーターの働きかけにより、児島未来学の趣旨に賛同する多くの講師に参加していただき、「価値観」について生徒とともに語り合った。

岡山県立倉敷工業高校

岡山県教育委員会指定（H31～R3）

スーパーエンバイロメントハイスクール 研究開発事業 ～5科による共同開発～

SDGsの視点でものづくり

取組等の概要



○専門5科の連携

工業化学科

繊維廃棄物を糖化して酵母発酵を進め消毒用アルコールへの再製を研究。

テキスタイル工学科

アルコールに再製後の廃棄物をさらに綿花の肥料への再製に挑戦。

機械科

溶接技術を活かして実験装置の架台を製作、研究のスケールアップに貢献。

電子機械科

糖化や発酵がより進むために高性能シュレッダー装置の設計を担当。

電気科

制御のプログラム開発や制御装置の製作を担当。再製の効率化を支援。

○概要

テキスタイル工学科の実習で出た繊維廃棄物を、工業化学科が酵母発酵で消毒用アルコールに再製するとともに、再製後の廃棄物を、テキスタイル工学科がさらに綿花の肥料として再製する研究を進めています。

○特長

- ・専門5科が連携し、ものづくりの技術を活かした取組
- ・地元大学、企業との連携による共同研究開発
- ・「倉工スタンダード（育成したい資質・能力）」による指導

○主な取組

- ・岡山理科大学、岡山大学の教授陣による先端研究の講演会（リモート配信）
- ・株式会社フジワラ テクノアートによる先進利用の講演会（リモート配信）
- ・研究成果を地域・産業界に向けた発表会

岡山県立水島工業高校

本物を目指すものづくり 新 M E C I Aプロジェクト ～SDGsへの貢献とSociety5.0への適応～

取組等の概要



リサイクル燃料の製作研究



エアロM E C I Aの飛行実験



スクミリンゴガイの生態調査

○取組の目標

SDGsの視点から、校内の専門学科が連携して、Society5.0（超スマート社会）に向かうものづくりに取り組み、多様な学びを追求します。

○取組の特徴

- 1 創造的・先進的なものづくり
- 2 学科の垣根を超えた連携
- 3 地域と密着した活動

○取組の概要

- ・ 5つの専門科（M機械科・E電気科・C工業化学科・I情報技術科・A建築科）が連携し、取り組んできた共同プロジェクト
 - ・ 廃プラスチック等の再利用による有効活用（サーマルリサイクル・マテリアルリサイクル・ケミカルリサイクル）
 - ・ トライブリッド有人小型飛行機 等
- ・ 地域と連携した体験活動
 - ・ N P O法人倉敷町家トラストでの町家調査・整備
 - ・ スクミリンゴガイによる食害対策
 - ・ “飛び出せ！水工生” 出前ものづくり教室（高梁川流域倉敷三斎市） 等

岡山県立倉敷商業高校

教科横断型授業「倉商AAA」

— 倉商生が地元の倉敷美観地区を観光客にご案内 —

取組等の概要



川船をながめながら



外国人にガイド中



ガイド実習中

○取組の目標

自ら学び、地元地域への愛着や誇りを持ち、将来、地域に貢献する人材育成を目標としています。

○取組の特徴

3年生課題研究「倉商AAA」商業＋英語＋地歴 が担当する教科横断型授業です。学校から徒歩15分の倉敷美観地区でガイド活動を行います。

○取組の概要

「倉商AAA」とは3年生の選択講座のひとつで、読み方は「トリプルエイ」。
AAAは、Amigo Area Attendant（友人のように親しみを込めて地元地域を案内する者）の略です。秋の観光シーズンに倉敷美観地区で観光ガイドをすることを目指して、地域の様々な方のお力を借りながら学習を進め、商業の科目で学習した内容を確認、実践し、英語を使ってみることに挑戦します。

観光産業や地域について学習し、おもてなしの仕方やコミュニケーションスキルの向上をめざしています。地域の方々の協力を得ながらの学習は、街の過去と現在について知る絶好のチャンスであり、未来を形成する人材への期待を担うことでもあります。倉敷商業高校はこれからも地元倉敷を愛する学校として、生徒が地域に貢献できる人材となれるよう活動をしていきます。

岡山県立玉島商業高校

玉翔エボリューション『新たな学びの創出』 ～eラーニングシステム「moca」を 活用した新しい学びの形～

取組等の概要



いつでもスマホで教材活用



40台のiPadも授業で活用



求人票もスマホで確認

○取組の目標

「質実剛健」の校是と「誠実・勤勉・礼儀」の校訓のもと、主体的に考え志を持って、率先して実践できる生徒を育成しています。

○取組の特徴

eラーニングシステム「moca」を活用した「玉翔ビジネスマスタープロジェクト」を中心としたカリキュラムマネジメントの構築

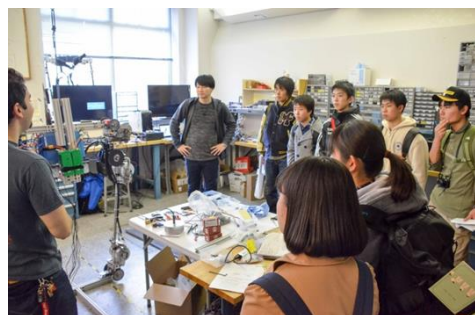
○取組の特徴（玉翔ビジネスマスタープロジェクト）

- ・「玉島学習」（1年）玉島の歴史と産業について学習する。
生徒はスマートフォンに配信される動画コンテンツで学習し、フィールドワークで内容を検証する。
- ・「総合的な学習の時間」『玉ナビ』（2年）1年次の玉島学習を踏まえて、玉島の現状について調査研究する。
玉島地域研究（探究・課題解決学習）を実施する。作成した報告書は「moca」で共有する。
- ・「課題研究」（3年）玉島の未来について探究する。
1年生（玉島の過去）⇒2年生（玉島の現状）での調査研究を踏まえ、玉島の地域が抱える課題を解決し、地域玉島の未来について探求する。
作成した報告書、プレゼンテーションは「moca」で共有する。



「2020年もVGR」 ～未来を切り拓く人材の育成～

取組等の概要



【SSH海外研修】※画像は一昨年度
マサチューセッツ工科大学にて



【SSH東京研修】
JAXA相模原キャンパスにて



【学校設定科目 サイエンス】
メディカルサイエンスⅠのようす

津山高校は、平成24年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け「**VGRの育成**」を学校全体でめざしています。

この事業を最大限に活用し、学校設定科目「サイエンス」や各種研修で、大学の先生の講義や地域との連携などに取り組んでいます。SSH2期目の中間評価では、文部科学省から最上位の評価（77校中6校）を得ることができました。

津山高校でVGRの力を伸ばし、未来を切り拓くトップサイエンティストをめざしてみませんか？



未来を切り拓くトップサイエンティストの基盤となる‘Vision’、‘Grit’、‘Research Mind’の育成

【過去3年間の主な成果】

- ◎全国レベルの研究発表・コンテスト入賞
 - 日本水産学会高校生発表
 - 日本地球惑星科学連合高校生セッション
 - 科学地理オリンピック次予選突破
 - 全国物理コンテスト物理チャレンジ第1チャレンジ突破
- ◎県レベルの研究発表・コンテスト入賞
 - 岡山県理数科課題研究合同発表会
 - 集まれ！科学への挑戦者 ポスターコンテスト
 - 科学オリンピックへの道 岡山物理コンテスト
- ◎大学合格実績
 - 東京大学、京都大学、医学部医学科、
 - 旧帝大など難関大学（大阪大学・神戸大学など）

【小学生・中学生のみなさんへ】

- ☆2020年の津山高校オープンスクールは、web開催としました。11月には学校説明会・ミニオープンスクールを予定しています（別途案内します）。
- ☆2020年の学校祭「十六夜祭」は日程・規模を縮小し、非公開で実施しました。
（※例年のオープンスクールは8月後半開催）
（※例年の十六夜祭は中高合同で3日間実施）

◆津山高校Facebookページ開設！
（「津山高校 Facebook」で検索）

岡山県立津山東高校

地域を支え、社会で輝く力が身に付く 3つの科

～東高の自慢は、多様性が生み出すエネルギー！～

取組等の概要



普通科
行学フィールドワーク



食物調理科
東雲キッチン



看護科・専攻科
戴帽式

○取組の目標

「普通科」「食物調理科」「看護科・専攻科」という3つの異なる科の生徒が在籍する学校の多様性を生かして、これからの時代に求められる資質・能力である、さまざまな価値観を尊重しながら主体的に考え行動する力や、立場の異なる人々と協働できる力を育成する。

○取組の特徴

- 1 総合的な探究の時間「行学（ぎょうがく）」における地域課題解決型探究学習
- 2 津山市や地元企業、NPOなどの協力による、「地域で輝く大人」との出会いの場の創出
- 3 病院実習や調理校外実習など、地域の協力による実践的な学習の推進

○取組の概要

- ・普通科…「行学」地域をフィールドにした3年間の探究学習により、課題発見・解決力、コミュニケーション能力を育成
 - 1年次：まなびプロジェクト、S I M津山プロジェクト、発信力プロジェクト
 - 2年次：地域プロジェクト、社会・世の中プロジェクト
 - 3年次：総合探究プロジェクト
- ・食物調理科…高校生レストラン「東雲キッチン」
 - もみじまつりなど地域イベントへの参加
- ・看護科・専攻科…地元病院や保育園などでの臨地実習
- ・3科共通…東高生と大学生、地域の大人が語り合う教育プログラム「だっぴ」
 - カナダ・ケロウナ高校との姉妹校交流、地域でのボランティア活動

岡山県立津山工業高校

竹の有効活用 ～循環型資源活用取組～

取組等の概要



竹の伐採から運び出し



竹チップの牛舎への利用



整備された竹林

岡山県北の地である美作地方は日本の多くの地域と同様に少子高齢化が進み、特に機械化が難しい畑や田が耕作放棄地になり、雑草が生い茂り、手入れされていない竹林が広がる風景がいたるところに見られます。平成27年6月に工業化学科の1年生40名が、「地域の山野の状況を知る森林活動」で体験したことから始まり、全7科の取り組みに発展した竹資源の有効活用取組をみなさんに紹介します。

岡山県農林水産総合センター森林研究所の協力で、27年12月に7学科の代表1年生21名が、勝間田の竹林の現状を見学し、竹を伐採し、竹炭作りを体験しました。それ以来生徒達の地道な取組が続けられており、竹林の整備事業も地域の理解が得られるようになり、近隣の竹林所有者の協力により、竹資材の確保も容易になりました。

竹林の伐採体験より始まった整備事業ですが、美作・津山地域に畜産農家も多いこともわかりました。そこで、微粉碎した竹チップを利用した牛舎敷料と使用済みの敷料を土質改良材として再利用する研究に取り組み、地域から大きな反響を頂きました。この取り組みは「2016高校生テクノフォーラム」で最優秀賞を頂きました。また和牛農家の竹チップが臭いを軽減するという感想から現在は、竹チップを活かした消臭材の研究や微粉化した竹チップを利用した植物の栽培効率の研究を行っています。

今年度は新型コロナウイルスの関係で例年通りの活動とはなっていませんが、先日竹林伐採を行いました。

岡山県立津山商業高校

つなげよう 地域の心 孫の心 孫心（まごころ）弁当の取組

取組等の概要



弁当調理風景



孫心弁当とプレゼント



高齢者宅訪問

○取組の目標

学校家庭クラブ活動の一環として、高校生が手作りした食事を高齢者の方にお届けすることで、高齢者福祉への関心とともに、思いやりの心と、豊かな感性を育成する。

○取組の特徴

- 1 津山市社会福祉協議会、城北地区民生児童委員協議会との連携
- 2 一人暮らしの高齢者の方へ手作り弁当を届ける地域交流
- 3 社会との学びの繋がりを実感できる教育活動

○取組の概要

- ・ 3年生家庭科の授業で高齢者の方が食べやすく、健康に良い献立を計画。希望者が調理や配達を担当。プレゼントやメッセージカードは3年生全員で作成。
- ・ 過去の献立を元に、3年生全員が改善点を提案—試作—検討を繰り返し、より好ましい弁当作りに取組むことで、実社会・実生活との関わりを踏まえ、発揮できる力を養成する。
- ・ 高齢者の方からのお礼の言葉やメッセージを受け取ることで自己有用感・自己肯定感の向上を図る。
- ・ 地域の機関との連携や高齢者と触れ合うことで、地域の課題を自らの問題としてとらえ、高校生らしいアイデアを立案・実行する。

岡山県立玉野高校

『お飾りづくり』で地域を笑顔に！

取組等の概要

本校では、20年間以上続いている伝統的な活動があります。それは『お飾りづくり』です。当時、進路が決定した3年生が地域のために何かできないか考えたところ、年末にお飾りを作り、それを地域の方々にお届けし、喜んでいただくという企画を立案しました。それ以来、今でもその伝統は受け継がれており、毎年地域の方々が笑顔で受け取ってくださっています。



わらは地域でつくられたものを使用！



一からお飾りづくりに挑戦！



心を込めて、一つ一つを手作り！



全部で150個ほどを作成！



地域の方々のお宅へ訪問し、直接手渡し！
笑顔で受け取ってくださる姿に、充実感を味わう。



岡山県立玉野光南高校

エージェンシー(自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力)の育成
SDGsで未来と世界を考える！

取組等の概要



エシカルファッションについて考えるワークショップ



岡山大学狩野先生のオンデマンドSDGs学習会



自作の絵本で小学生にSDGsを紹介する

○取組の目標

玉野光南高等学校は「普通科・情報科・体育科」の3学科からなる「学科総合型」高校です。それぞれの学科の強みを生かした【異力の統合】そして【エージェンシー】を合い言葉に、夢に向かって自分で考え、責任を持って行動できる生徒を育成しています。

○取組の特徴

探究と連携（地域、小学校、大学、企業等）

○取組の概要

今年度は普通科の取組を取り上げてご紹介します！

35期普通科では、SDGs（持続可能な開発目標）に興味を持った生徒たちが自主的に活動しています。「そもそもSDGsとは何？」というところから始め、本を読み、カードゲームを体験し、フェアトレード商品を試食し、食品ロス削減セミナーや岡山大学のSDGsフォーラムにも参加しました。活動2年目の今年はコロナ下で、マスク作り講習会を主催したり、エコバッグを作って地域の市民センターや公民館に展示・寄付したりしました。便利な現代社会における多くの解決すべき問題は、まさにこれからを担う自分たちの課題だと捉えた生徒たちは、SDGs絵本を作って地元の小学生にも伝え、未来に向けて行動を始めています。

体育科や情報科も、それぞれの専門分野で地域や地元小学校と連携しながら探究プログラムを行っています。

皆さんも玉野光南高校で、教室だけではわからない現代の課題を探究することで、未来と世界について一緒に考えてみましょう。

岡山県立笠岡高校

「さあ、未来をデザインしよう！」
～ともに学び楽しみ、輝く自分が見つかる～

取組等の概要



「習熟度別少人数授業」と「3つの学びのコース」で力を最大限に伸ばします



オンライン英会話で英語力アップ
本校独自科目「Global English」



3年間の探究活動で
高い課題解決能力が身につきます

～ 未来開拓型カリキュラムで君の明日が変わる ～

笠岡高校（愛称：千鳥）は、新しい時代に必要な
6つの力＝未来開拓力を身につけた人を育てます。
部活動も学習も、そして自分らしい夢も実現したい、
それをかなえるのが千鳥スタイルです。



きみの夢へ直結。3つの学びのコース「人文総合コース」「理数総合コース」「探究先進コース」がスタート！

夢にあわせて、3つの学びのコースから選択

- ・進学重視型単位制だからこその習熟度別少人数授業、加えて選べる3つのコースにより、夢に向けたきめ細かなサポートを行います。

社会で求められる英語力、オンライン英会話で向上！

各学年に独自科目“Global English”を開設し、英会話力の向上を実現

- ・海外の外国人講師とオンラインを通してマンツーマンで会話をし、楽しみながら英会話スキルを上達させることができます。
- ・英語でのやりとりや英文の要約などを通して英語力を磨き、アウトプットできる力を養います。

探究活動を通じて、課題解決能力を高めます！

「地域学→テーマ探究→探究」と続く系統的探究プログラム

- ・3年間の探究活動で高い課題解決能力が身につきます。
 - 1年…グループで地域課題の改善策を提案。
 - 2年…個人で興味のある課題を半年かけ研究し論文を作成。
 - 3年…現代社会や自然科学の諸問題について分析及び改善策を発表。



岡山県立笠岡工業高校

ものづくりを活かした

P B L（問題解決型学習）笠工テクノ工房

取組等の概要



依頼者への電話連絡



依頼者と打ち合わせ



依頼品の製作

○取組の目標

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。特に社会との連携・協働、未来の担い手となるために必要な資質・能力を育み、コミュニケーション能力の向上を重要視する。

○取組の特徴

- 1 地域社会との連携を活かした学習活動
- 2 年間通してPDCAサイクルを活用した生徒主体の活動
- 3 連絡や打ち合わせ、相談などコミュニケーション能力を育む活動
- 4 教員からの行動指示は禁止



**KASAKO TECHNO
WORKSHOP**

○取組の概要

- 1 2～3月に笠岡市の団体に修繕、製作の依頼を募集する
- 2 課題研究（3年）各専門科の笠工テクノ工房班が依頼を精査し、計画を立案する
- 3 依頼者への連絡や打ち合わせを密に行い要望を把握する
- 4 課題研究の授業で修繕、製作を行う
- 5 試作品を持参し、再度打ち合わせを行う
- 6 製品の贈呈式を行う

○取組の結果

平成29年度15件、平成30年度9件 令和元年度11件

岡山県立笠岡商業高校

笠SHOP

取組等の概要



開発ミーティング
(商品開発班)



R 1 観光ツアー
(観光班)



フィールドワーク
(観光班)

「笠SHOP」とは3年生の授業「課題研究」の講座のひとつで、いまや笠商ブランドとも言えます。商品開発と販売を行う商品開発班と、笠岡諸島などの観光ツアーの企画・実施をする観光班に分かれて活動しています。商品開発班（スタッフ10名程度）は、笠岡ブランド牛（瀬戸の姫）の「牛串」を始め、瀬戸の姫の牛肉、Y&G ディストリビューターさんのフリルレタス、アサムラサキさんのゴマゆずドレッシングなど地元食材を用いて富士製菓さんと共同開発した「せとぷりバーガー」、すみれ会さんと共同開発したクッキー「ごぼこち」など、食材とネーミングにこだわった商品を地元企業と共同開発し、校内のみならず地域のイベント等で不定期に販売しています。

観光班（スタッフ10名程度）は、平成28年度から笠岡諸島を中心に、笠岡の名所を巡るツアーを企画し、「笠岡市」や「かさおかブランド協議会」の協力を得て実施しています。平成28年度は、「寒さもぶっとび～¥4,010（ほっと）ツアー」で3コース、平成29年度は、「そうだ！島へ行こう！」で2コース、平成30年度は、「見て！触れて！食する！¥4,980（よくばり）ツアー」で3コース、令和元年度は、「美味美景！2島を巡る極楽（¥5,909：ごくらく）ツアー」を実施しました。毎年のツアーでは、1コース15名程度の参加があります。どちらの班も地域と連携して、地域の方の協力を得ながら取り組んでおり、地元地域では大変好評である。また、多くの人たちと関わることによって、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、責任感などを身に付けることができ、わが校自慢の取り組みです。

岡山県立井原高校

地域とコラボ「デニム学」 ～井高生が進める地域活性化～ 学科総合型高校の特長を生かした社会貢献活動

取組等の概要



藍の収穫



デニムバッグ製作



植物病原菌の観察

○取組の目標

地域に求められる学校づくり～進んで地域や社会に貢献する心豊かな人材の育成

○取組の特徴

- 1 3つの異なる学科がそれぞれの特長を生かして、地場産業であるデニムに関連した学びから、地域活性化を推進。
- 2 地域のニーズをくみ上げ、win-winの関係で持続可能な活動を展開。
- 3 取組を通して郷土愛を育み、未来の井原を担う人材を育成。

○取組の概要

【園芸科～綿と藍の栽培】

H23年度から井原市と連携し「綿プロジェクト」へ取り組む。収穫した綿は、デニム生地へ加工。綿の生産に加えて、今年度は染料になる藍を初栽培。

【家政科～デニムバッグの縫製】

井原市と連携し、デニム生地をデニムバッグに縫製。製作品は、市内小学校一年生へ入学お祝い品として贈呈。

【普通科～植物病原菌の基礎研究】

生物同好会は、藍に発生する病原菌の研究に着手。褐斑病の属菌を確認し、今後は生物防除の可能性を探っていく。

岡山県立総社高校

地域と連携した探究学習

取組等の概要



(1年) 社会人講演会
総社市まちかど郷土館 浅野智英館長



(2年) 総合的な探究の時間での
フィールドワーク



(2年) 課題研究発表会での
ポスターセッション

地域との連携による探究学習（総合的な探究の時間）

1年 地域探究

調査方法やプレゼンテーション等の研究スキルの習得

地元で活躍する方の講義による地域課題の理解

2年 テーマ探究

分野ごとに分かれての課題発見・課題解決策の探究

フィールドワーク
プレゼンテーション

正解のない課題について探究し、解決方法を提案する深い学びを通して、社会と自分との関わりを模索し、自分の考えをしっかりと持ち、その考えを分かりやすく人に伝えることを学びます。

総社市の課題

(例) 人口減少、超高齢化
総社商店街の活性化
空き家活用
地元特産品の開発
災害に対する安心・安全

8つの探究テーマ

連携先

総社市役所、地域NPO法人
岡山県立大学など

解決策の 提案・発表

(令和2年度取組例)

- ・「総社デニムマスク」と障がい者雇用の促進について
- ・総社商店街紹介マップ・動画づくり
- ・地元特産品(ハッカ、セロリー)の商品開発



岡山県立総社南高校

グローバル社会を切り拓く人材を育成する 【 国際系 】

取組等の概要



留学生受入



プレゼンテーション



短期留学

○取組の目標

社会に開かれた教育課程で、グローバルな視点を持ち、地域社会に貢献する生徒、卒業後も向上心を持って学び続ける生徒を育成しています。

○取組の特徴

- 1 姉妹校交流等を通して、異文化に触れ文化的寛容と国際的視野を養います。
- 2 幅広い表現活動を通して、英語で自分の考えを伝えることを目指します。

○取組の概要

・姉妹校交流

姉妹校から短期留学生を約2週間にわたって受け入れ、本校生徒はホストファミリーとして留学生を支えながら共に学校生活を送ります。クラスに加わり共に授業や学校行事に取り組み文化交流を図ります。また、オーストラリア姉妹校やニュージーランド語学学校へ短期留学生を派遣し、現地の家庭へのホームステイを通じて、異文化を経験します。
その他にも、長期留学生を受け入れ異文化交流の機会を提供しています。

・表現活動

授業中のアクティビティや課題を通して、4技能のバランスの取れた英語力を身に付けます。その英語力を活用して、スピーチコンテスト、プレゼンテーション、イングリッシュデイ等多くの国際系イベントを開催し、様々なシーンでの表現活動を重ねることで、英語で自分の考えを伝える力を育みます。

岡山県立高梁高校

姉妹校交流 30年 ～グローバル人材を育成～

取組等の概要



姉妹校訪問の一コマ



家政科と姉妹校との交流



姉妹校生徒と授業内交流

本校は、平成3年2月に南オーストラリア州のアデレードにあるノーウッド・モリアルタ高校と姉妹校協定を結び、以来、隔年で相互訪問を行っています。現在まで両校から500名を超える生徒・職員がこのプログラムに参加し、両校間の友好・親善、また、異文化理解・国際的視野の拡大などを図りながら国際理解教育を推進しています。

2週間程度の短期訪問・短期受入では、学校生活や校外研修およびホームステイ生活などにより言葉を越えたコミュニケーションを経験し交流を深めています。短期訪問を通じ、生徒たちは英語力の向上はもちろん、オーストラリアという多民族、多文化環境に身を置くことで、自分たちの視野が派遣前より広がったという実感を持っています。

平成11年度には両校間で新たに長期交換留学制度を締結し、平成12年度から年に1名程度の留学生を交換することにしましたが、平成21年初めに南オーストラリア州の交換留学規定の変更を機に長期留学を取りやめ、その代わりとして夏季留学(7月半ば～9月末)を開始しました。本校から生徒を派遣する場合は、“Foundation Course”と呼ばれる、移住して間もない生徒を主に対象とした英語集中プログラムに参加し、英語力の向上が見られると、現地の生徒と同じ授業を受けることもあります。また本校に生徒を迎え入れる場合には、英語科のみならず、他教科の教員も日本語の授業で受入生徒に対応しています。これは学校生活だけではなく、日本の日常生活にも対応できる日本語力を身につけさせることを目標としていますが、指導担当者の個性や教科特性が大いに反映されたプログラムになっています。

来年度迎える「姉妹校協定締結30周年」を前に、担当者を中心に協定内容の改訂作業を行い、ノーウッド・モリアルタ高校がホストとなって推進する“Global Summit”への高梁高校からの参加や、両校教職員の現地視察や体験授業を実施することができるようになりました。

また、平成30年度に高梁市はフランス・リヨン市のアンペール高校と新たに教育交流協定を締結し、アンペール高校訪問団の受け入れが実現しました。この教育交流協定は、英語圏以外の国との交流を通して高梁市内の高校生に幅広い国際感覚を身につけてもらうことを目的としています。今後は、高梁高校からアンペール高校への訪問も計画しており、国際交流・異文化理解をより一層充実したものにしていける予定です。

岡山県立高梁城南高校

電気科 広く産業界で 活躍できる人財(材)の育成

取組等の概要



ロボット製作の技術と成績を
評価され
おかやま未来の匠賞受賞



電気工事士資格の他
施工管理技術検定等
国家資格検定に合格



2年生全員参加で
地元企業を中心に
インターンシップ

○電気科の歴史と目標

昭和45年、高梁工業高等学校が設立されて以降「電気科」は、地域と共に発展し続けています。現在、電気的基础・基本を学び、体験的な学びである実習を通じて、電気に関する技術・技能を身に付けるとともに、様々な資格取得や各種ロボットコンテスト・ものづくり大会へ積極的に挑戦・参加しスキルアップすることで、広く産業界で活躍できる人財（人材）の育成を目指しています。

○電気科の取り組みと経歴

- ・ 2年生全員地元企業へインターンシップ参加（平成12年度より20年間継続）
- ・ 高梁市青年経済協議会より毎年依頼を受け高梁ウィンターフェスタにクリスマスイルミネーションを製作（平成14年より18年間継続）
- ・ 2年生全員第2種電気工事士試験を受験（毎年70%以上の合格率を維持）
- ・ 第3種電気主任技術者合格（平成25年度）
- ・ 全国高等学校ロボット競技大会出場（平成27、29、30年、令和元年）
- ・ 全国製図コンクール電気系部門最優秀特別賞受賞（平成24年、令和元年）
- ・ ものづくりコンテスト電気工事部門毎年出場（平成27、28年度県大会優勝）
- ・ 仁科ロボットコンテスト出場（3年間連続優勝、独創賞受賞）

岡山県立新見高校

おかやま創生 高校パワーアップ事業

取組等の概要



普通科生徒と新見市役所の打合せ



生物生産科の生産物



工業技術科によるワークショップ



総合ビジネス科による販売

本校は新見市唯一の県立高校として地域との連携活動を重視してきました。2018年度から「おかやま創生 高校パワーアップ事業」の推進校となり、より「パワーアップ」して地域との連携活動を行っています！

昨年度は普通科はSDGsをテーマとした主権者教育を行いました。専門3科は協働して「とっとり花回廊」で販売実習を行いました。

<普通科>

SDGsの視点から新見市の課題や問題点を探り、新見市役所の皆様に指導を受けながら、新見市議会に意見陳情を行いました。

<生物生産科>

私たちの生産物はどれも新見市内では随分と好評を頂いています。とっとり花回廊でも大好評でした。特に自慢の「肉味噌」は即完売でした！

<工業技術科>

僕たちが普段の授業で身に付けた技術を活かし、クリスマスリースやネーム入りキーホルダーをお客様とともに作りました。子ども達の喜ぶ表情にやりがいを感じられました！

<総合ビジネス科>

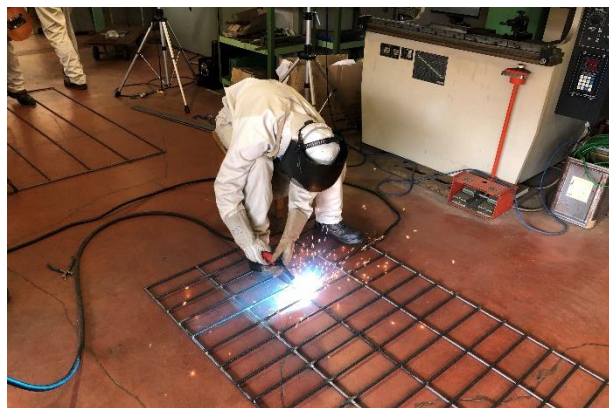
県外のお客様もとても親切で楽しく販売実習ができました。しかし新見市の事を聞かれてきちんと答えられない自分の不勉強を反省しています。

新見高校HP：<http://www.niimi.okayama-c.ed.jp/>

岡山県立備前緑陽高校

びぜんのまち 活性化プロジェクト

取組等の概要



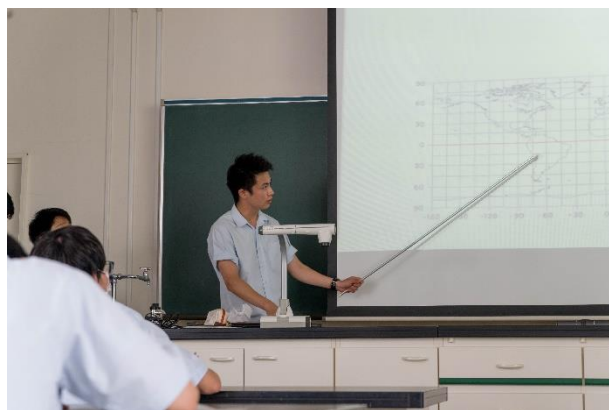
地域の害獣捕獲のための檻の制作



地域の病院でインターンシップ



備前市高校生会議に参加



成果発表会の様子

本校は少子高齢化がすすむ備前市唯一の県立高校として、地元産業の担い手を育成する機関として期待されています。「総合的な探究の時間」を「びぜんみらい学（地域学）」と位置づけ、備前市および備前市教育委員会、備前商工会議所、備前観光協会などと連携・協働した学習活動に取り組んでいます。このプロジェクトはこれまで積極的に取り組んできた社会貢献活動や授業等における地域との連携を一体的にとらえ、本校が備前市の活性化に寄与することを目的としたものです。

講演会や探究活動におけるアドバイザー派遣、活動場所の確保等について、備前市を通じて市内関係企業・機関等に依頼し協力をいただくなど、支援体制も整備されつつあります。

岡山県立邑久高校

地域の企業を見学！＝地域×進路

取組等の概要



瀬戸内kirei太陽光発電所

～国内最大のメガソーラー～



瀬戸内市立福田保育園

～園児達と元気に外遊び～



木徳神糧（株）

～米や米製品の製造～



瀬戸内市立美術館

～学芸員の解説による鑑賞～



大和紙器（株）

～段ボールなど紙製品の製造～



（株）ブックス

～製本の企画から製造まで～

1年次では、地域の企業を知ることで進路や将来の仕事についての理解を深めるために地域企業見学を行っています。昨年度は進路希望別6グループに分かれて、各2か所を見学しました。地域の企業と高校を結ぶという目的で瀬戸内市からバス代全額を補助してもらっています。参加した生徒は熱心に話を聞き、自分の進路や将来の仕事について考えることができました。

科学技術系

・瀬戸内kirei太陽光発電所、(株)岡山村田製作所

教育・経営系

・瀬戸内市立福田保育園、ホテル・リマーニ

芸術・福祉系

・瀬戸内市立邑久保育園、瀬戸内市立美術館

食品販売・製造系

・(株)一文字(うどん)、木徳神糧(株)

工業製品・製造系

・大和紙器(株)、瀬戸内kirei太陽光発電所

生活製品・製造系

・(株)ブックス、日本オリーブ(株)



@okayama.
okukoukou

岡山県立勝山高校

持続可能な社会づくりの担い手を育成

～地域の教育、医療・福祉、産業等で活躍する人材育成～

取組等の概要



地元真庭市は「SDGs未来都市」に選定され、持続可能な地域づくりで全国最先端の取組が行われています。

そうした中、本校では総合的な探究の時間「夢現プロジェクト」での校外学習・課題研究やN I E (Newspaper in Education)等を通して、持続可能な社会づくりのための知識と実践力を養うことができます。これらの取り組みは、真庭SDGsパートナー登録、岡山県N I E 優秀教育奨励賞受賞等、高い評価を受けています。

また学習支援ボランティア、介護老人保健施設訪問等、生徒が主体的に行動し、地域に貢献する取り組みが行われています。

勝山高校で学び、考え、行動し、持続可能な社会づくりにチャレンジしてみませんか？



岡山県立勝山高校蒜山校地

高校立てり、野に立てり！

～蒜山をフィールドとした深い学びで、地域に貢献する人材を育成～

取組等の概要



蒜山を知り・考え・提案する教科「蒜山」を中心に積極的に地域に出向き、地域の歴史・文化・自然・産業などの研究や職業体験をしています。

また、勝山高校との遠隔教育システムなど充実したICT環境が整っています。

地元の蒜山中学校とは連携型中高一貫教育に取り組み、様々な活動や交流等を行っています。

これらの取り組みを通して、地域の活性化に貢献したいという強い気持ちが育っています。

馬術競技も盛んな地域であり、自然豊かな勝山高校蒜山校地で、地域の持続可能性を探求し、未来を切り拓いてみませんか？



岡山県立真庭高校

Think Globally, Act Locally

～持続可能な世界の実現を、真庭から始める～

取組等の概要



【落合校地】地元メディアと協働して真庭市の企業を訪問。SDGsについてインタビュー。



【久世校地】「地域とつながるミニパブリカ」の育苗と提供で持続可能なまちづくり。

■SDGs × 真庭市 × 真庭高校

真庭高校は教育のミッションとして「Think Globally, Act Locally」を掲げて、地球的な視野で考え、地域で行動できる人材の育成を目指しています。「SDGs未来都市」に選定されている真庭市にある学校として、教育活動を進めています。

真庭高校では、このSDGsを教育活動に取り入れ、授業等で地域と関わる教育活動を積極的に進めています。世界という共同体の一員として、自分が身を置く場所から、共同体の持続的継続的幸せのために何ができるかを考え、行動する学習を展開しています。

■落合校地 × Try&Report(TR)

TRとは、落合校地の総合的な探究活動の総称で、「Try＝やってみる」ことを「Report＝伝える」活動です。生徒たちは地域貢献をキーワードに地域に繰り出し、様々な体験を通して自分たちに何ができるかを考え、実践し、その取組を発表として形にします。

地域医療を担う看護師の育成も、真庭高校の使命の一つです。看護科の生徒たちは、国家試験合格をめざして学習、実習に励んでいます。



シンキングツールで
皆の意見を深める

地域に繰り出し、
地域課題を協議



■久世校地 × 地域貢献

久世校地では、農の力を利用して地域の人と交流し、地域連携や研究開発・地域資源の利用などについて共に試行錯誤することで、地域に貢献する実践的な活動に取り組んでいます。

ジビエ活用プロジェクトでは、真庭の課題である有害獣の有効活用に取り組んでおり、猪肉・鹿肉を使った発酵調味料やジビエ料理の研究開発を行っています。



ジビエ料理を使った
カフェ

ジビエ料理講習会



岡山県立林野高校

学びは止められない

～ 市内ただ一つの高校が全国をICTでリードする ～

取組等の概要



実験方法を事前確認



班で考えをまとめ全体発表



オープンスクール学校説明
もオンラインで

○取組の目標

一人1台所有しているノート型PC「Chromebook」及びGoogle社が提供するグループウェア「G Suite for Education」の活用を通して、主体的に学び続ける力や、課題発見・解決能力、協働性を育むことを目指しています。

○取組の特徴

1. 校内Wi-Fi整備率は100%！ いつでもどこでも使える環境
2. G Suite for Educationの様々なアプリを活用して、従来の教室とクラウド上の教室を組み合わせたハイブリッド型授業など、令和の新しい授業を実践

○取組の概要

1. 授業前はクラウド上の教室で準備、当日はみんなで考える授業、授業後はクラウド上の教室で振り返るスタイルのハイブリッド型授業を実践しています。
2. 共同編集機能を使って、グループ全員で協働して作業することができます。リアルな対話と組み合わせ、お互いの思考を可視化することができます。
3. フォームアプリで授業の振り返り、アンケートや小テストが簡単にでき、回答した瞬間に自動集計や採点ができるので、学力分析に役立ちます。
4. 授業に加え、進路指導や学校行事など幅広く活用しています。

このように、一人1台のChromebookとG Suite for Educationを活用した新しい視点での授業づくりで生徒の自主性を育てています。

岡山県立鴨方高校



地域の実践者から学び、地域に貢献する！！

＜あなたの「やる気」、応援します＞

取組等の概要



「A Sビジネス・情報系列」
フィールドワーク！



「職業別交流学習」
パティシエの方と実習！



「科学の祭典」
ボランティア活動！

○あさくち山環学プロジェクト

本校では、平成28年度から、地域と連携した活動を「あさくち山環学プロジェクト」と名付けて、地域と連携したキャリア教育、科目「A S系列」といった自然環境や観光資源などの探究活動、ボランティア活動などを実施しています。

○高校魅力化推進事業「リージョナルモデル」

令和元年度から指定を受けた岡山県高等学校魅力化推進事業「リージョナルモデル」で、配置されたコーディネーターの援助を受け、地域との連携促進など教育の質を確保した魅力づくりを図っています。

その取組例として、1年生で実施する「職業別交流学習」があります。地域のいろいろな職業の方に来校していただき、興味を持った講座で、各仕事の魅力を聞いたり、実習したりします。地域コーディネーターとの協働によって、活動内容がより精選され、生徒は充実した時間を過ごすことができます。

○ボランティア活動

本校では、様々なボランティア活動に力を入れています。特に、「鴨方町手延べ麺まつり」は「鴨方高校の生徒ボランティアがなくては成り立たない」と言っていただけるくらい地域に貢献しています。その他にも「ウミホテル採取ツアー」「クリーン作戦（地域清掃活動）」「科学の祭典」などのボランティア活動を通じて、生徒の自主性や自己有用感等を育み、地域社会に貢献する人材を輩出しています。

岡山県立和気閑谷高校

グローバルな学びでつながる活動

取組等の概要



コミュニティ・スクールに



探究学習発表会



昌原龍湖高校との交流

1. 地域との協働が強み! (コミュニティ・スクール)

岡山県の県立学校初のコミュニティ・スクールとなり、地域の様々な方としっかりつながり、また、協力してもらい、本校の様々な学習活動を実現していきます。

総合的な探究の時間「閑谷學」では、地域の方々と協働し、また、各教科で得た知識を利用しながら、生徒それぞれが課題や疑問に取り組み、根拠に基づいた意見を述べていく力を身につけています。

2. グローカルな視点からの学び

中国、韓国、台湾の姉妹校(高校5校)などとの交流をとおり、世界的な課題に目を向けると同時に、地域の視点からも、考えを深めていきます。

昨年度、沃川高校、昌原龍湖高校が本校を訪れ、歓迎セレモニーをはじめ、授業、昼食会、ホームステイなど交流を深めました。

タブレットを活用したオンライン学習!

1人1台のタブレットなどを活用し、多くの意見に接することをとおり、考えを深められます。大学入試改革に対応するだけでなく、21世紀を生き抜くうえで必要なICT機器の活用を研究・推進し、学習環境の一層の充実を図っています。



岡山県立矢掛高校

地域協働活動コーディネーター

取組等の概要



地域連携行事
(山ノ上干し柿祭り)



YKG60
(やかげ子供連合)



ESDタイム
(総合的な探究の時間)

○取組の目標

「地域に支えられ、地域を支える高校」を目指す矢掛高校では、様々な地域とのつながりをさらに深めていくために、矢掛町と協力して「地域協働活動コーディネーター」を採用しています。高校生と地域をつなぎ、生徒それぞれの個性に応じた実践力を身につけていく。そんな地域連携における「学びの個別最適化」が「地域協働活動コーディネーター」を軸にして、学校全体で目指されています。

○取組の特徴

矢掛高校の「地域協働活動コーディネーター」を担当してくださっている井辻さんは、地元の小中高校生が連携して自分たちのやりたい地域活動を次々に実践していく一般社団法人「YKG60」の代表でもあります。町内の施設や住民の様子、子供の気持ちをよく理解されている地域連携のプロだからこそ見えてくる「学校と地域の協働の在り方」。多くの効果的なコラボレーションがここから生み出されます。

○取組の概要 *「地域協働活動コーディネーター」の仕事の一部をご紹介します。

- ・ **地域連携行事**：「山ノ上干し柿祭り」や「宿場祭り」などの町の行事との連携活動
- ・ **地域キャリア教育**：進路選択の際などに参考になる町民を紹介するキャリア相談
- ・ **小中高連携**：「YKG60」などの子供連合を通じて校種を超えた地域活動促進
- ・ **グローバル促進**：矢掛町での外国人交流を促進し「グローバル」な実力を養成
- ・ **学生コンテスト発表**：地域活動での学びを様々な学生コンテストで発表する準備
- ・ **ESDタイム（総合的な探究の時間）**：「持続可能な地域づくり」に関する授業を担当
- ・ **西日本豪雨災害支援**：H30豪雨で被災した生徒をNPO法人と協力して継続支援

岡山県立勝間田高校

勝央スイーツ

宝石水まんじゅう！

取組等の概要

勝央町特産のブドウ「ニューピオーネ」を使った水まんじゅうを製品化しました。

この水まんじゅうは、ニューピオーネをペースト状にして煮込んだピューレを製造し、寒天などを混ぜて固めた和菓子です。水まんじゅうの中には、ブドウ顆粒が1粒まるまる入っており、フルーティーな仕上がりになっています。



糖度が18度になるまで煮込んでブドウピューレを作ります。



完成したピューレを瓶詰めし、冷凍保存します。



寒天と混ぜてブドウを入れ、型に入れて固まれば完成です。

6年前に、地元の御菓子司「板屋」からの依頼で、勝央町の特産品であるニューピオーネを使ったブドウピューレ作りの取組が始まりました。それ以降試行錯誤を繰り返し、先輩から後輩へこの取組が受け継がれてきました。3年前に「板屋」監修の下、ピューレを使った水まんじゅうの製作に着手し、地元の祭り会場や役場、大学などで何度も試食会を重ね、ようやく商品化にたどり着きました。水まんじゅうの色が宝石のアメジストの色に似ていることから「宝石水まんじゅう」と名付けました。

8月下旬に御菓子司「板屋」で2日間限定販売を行ったが、両日とも予定数（1日2個入り50セット限定）を完売し、好評でした。

食品科学科は平成30年度入学生を最後に募集停止となっていますが、総合学科の中に食品系列として食品製造・加工の学びは継続されており、先輩から受け継がれた研究テーマのバトンも引き継がれています。

岡山県立烏城高校

地域とつながる
多様な年代の人とつながる
未来へつながる

定時制高校の社会貢献活動

取組等の概要

本校のスローガン

優しくなれるところ
強くなれるところ
生きる力をつかむところ

烏城高校のシンボル
八咫鳥(やたがらす)



「おかやまマラソン」ボランティア



生涯学習センターとの連携
「科学キッズフェスティバル」
ボランティアスタッフ



地域の保育園・幼稚園・京山公民館等にプランターに植えた花を贈呈



京山地区ESD推進協議会との連携
水生生物の調査補助



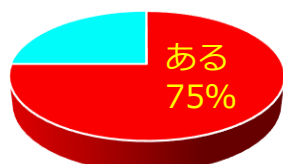
岡山大学環境理工学部主催「ほたる祭り」ボランティア



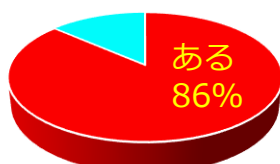
社会貢献活動の経験が自己有用感の高まりにつながっています。

「自分はだれかの役に立つことがある」と思う

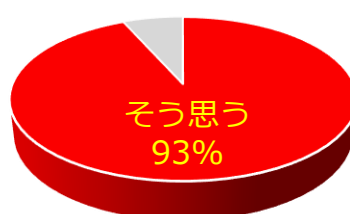
ボランティアが自分にとってプラスになった



参加前



参加後



そう思う
93%

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

世界に羽ばたく大安寺生

取組等の概要

全員参加のオーストラリア海外研修を通して骨太な英語力やコミュニケーション力を身に付け、6年一貫教育の強みを生かしたDAIANJIプロジェクトによりたくましい人間力を育成しています。

ブリスベンで全員集合



シャフストン語学学校修了式



本校最大の行事は、海外研修です。3年生全員がオーストラリアでの約2週間、一人一家庭でのホームステイを行いながら、現地学生やホストファミリーとの交流を通じて、異文化に対する理解を深めます。また、現地では、語学学校でTESOLの資格を持った教員による英語の授業を受けたり、自分たちで一日の行動計画を立てて、歴史的建造物の見学や市内観光など班別自主研修なども行います。

1年生から「コミュニケーション」や「スピーキングイングリッシュ」といった他校にはない科目を設定し、骨太な英語力やコミュニケーション能力を身に付けたり、大学に留学している海外の学生を招いて交流会を行ったりするなど、海外研修に向けた様々な取組が行われています。また、「DAIANJIプロジェクト」と称し、総合的な学習の時間等を活用した、行動力・実践力・課題解決能力などを備えた、「たくましい人間力」を育成するための取組も行われており、その柱の一つでもあるキャリア教育として、1年生でのジョブシャドウイング、2年生でのジョブインタビューやチャレンジワーク、海外研修における職業体験や4年生での関西キャリア研修などが行われています。

これら海外研修や前期課程での「DAIANJIプロジェクト」の成果を、4年生の6月に「羽ばたけ大安寺生」という行事で発表しています。このような取組により、海外研修を終えた4年生は、主体的に行動することの大切さや、様々な人や物事に幅広く目を向ける視野の広さを身に付け、下級生は、自分たちがこれから身に付けていくべき力について理解し、興味を深めることができます。

岡山県立岡山盲学校

ここから世界へ ここから未来へ ～ 点字ブロック発祥の地で学び続ける ～

点字ブロック記念碑より

取組等の概要



点字ブロックの日の活動



マッサージ体験会



わくわく体験 盲学校

○ 本校の概要

岡山盲学校では、全く見えない人は点字や音声による学習、弱視の人は拡大教材による学習を行っています。毎年地域の方々にもご来校いただき、体育会では音源や手引きロープなどを頼りにした走競技を、文化祭では学習発表会や歌・演劇をはじめ、箏や三味線など伝統音楽などの発表を行います。

学校の近くの前尾島交差点は、1967年世界で初めて点字ブロックが敷設された場所であり、点字ブロック記念碑には「ここから世界へ ここから未来へ」と強く刻みこまれ、地域の方々とともに、歩み続ける児童生徒を見守っています。

○ 取組の概要（今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止です）

1 点字ブロック記念日

3月18日の点字ブロックの日の取組として、いつも清掃に取り組んでいる岡山市立操山中学校ボランティア委員会とともに、清掃活動を行っています。

2 マッサージ体験会in盲学校

本校には理療科という、あん摩マッサージ指圧師、鍼師、灸師の国家資格取得を目指す職業課程があり、毎年、9月の土曜日に、近隣の皆様への日頃の感謝の思いを込めて、「マッサージ体験会」を行っています。知識を学び、技術を磨き、心を養い、将来は臨床家として独り立ちできるよう努力しています。

3 わくわく体験盲学校

夏休みの公開講座では、「視覚障害の世界」「盲学校体験ツアー」「わくわく点字」「理療科のとびら」の講座を実施しています。地域の小中学生をはじめ、たくさんの方々に盲学校の特色を体験していただいています。

岡山県立岡山聾学校

キャリア教育の連続性 ～学校と地域で学ぶ～

取組等の概要



工業高校でのガス溶接実習



キャリア教育フェア



地域の集会所の清掃

岡山聾学校は、110年の実績を誇る県内唯一の聴覚障害教育特別支援学校です。幼稚部から高等部まであり、高等部には普通科と総合デザイン科を設置しています。キャリア教育の連続性と地域との連携を意識した教育活動を行っています。

【幼稚部】

生活や遊びの中でキャリア教育を意識した活動を行っています。高等部で使用したウィッグを再利用し、ヘアデザインごっこや散髪ごっこをしながら、お仕事体験等もしています。



ヘアデザインごっこ遊び

【小学部・中学部】

仕事調べ、職場見学や就業体験、地域の高齢者施設や近隣の学校との交流学习等を通して、コミュニケーション能力を高めたり、自分自身の課題に気付き、その課題を解決する力を育てたりしています。

【高等部】

将来の職業人・社会人を目指し、地域交流・地域貢献・協働学習・職場実習等の活動に繋がりをもたせ、地域と連携しながら学びを深めています。また、専門学科を有する高等学校の協力により施設設備を活用した専門的な内容を学習しています。

ファッション・ヘアデザインコースヘア系を選択すると、国家資格である理容師免許の取得を目指すこともできます。

岡山県立岡山支援学校

寄宿舎で可能性にチャレンジ (岡支×寄宿舎＝無限大∞)

取組等の概要



余暇時間（午後のひととき）



学習会（身近なお金の話）



自立に向けて（洗濯干し）

○取組（寄宿舎）の目標

- 1 心身ともに自立をめざし、健康の保持・増進と基本的生活習慣の定着を図ります。
- 2 自治会活動を通して、主体的に活動し社会と繋がっていく力を育てます。
- 3 仲間とともに生活する中で、自主性・協調性を養い、相手を思いやることのできる人間性を育みます。

○取組の特徴

- ・岡山支援学校は寄宿舎を備えた肢体不自由教育に特化した全県学区の支援学校です。寄宿舎では、自立に向けた様々な取り組みを行っています。教室の中だけでは身に付けることの難しいことを日々の生活を通して身に付けていくことができます。
- ・規則正しい生活の中でより良い生活習慣を身に付け、見通しをもって生活ができるようにします。また、舎生同士が協力して様々な活動を行っています。それぞれの当番活動や行事を通じて、自分たちの生活を自分たちで作り上げていく意欲を育てます。

○取組の概要

- ・新しい生活様式の中で感染症対策にも配慮しながら無理せず、楽しく工夫しながら生活しています。
- ・舎生会（自治会）活動は舎生会役員を中心に、実行委員会を結成し、行事を計画・実行します。今年度は新入舎生歓迎会・花火大会・お月見会・秋まつり・年忘れ会・卒業生を送る会を行います。
- ・当番活動では舎生会の役員が中心になって当番を自分たちで決めます。交代で配膳や風呂掃除、放送の当番をしています。
- ・学習会は舎生の希望も取り入れながら、自立に向けて様々な学習会を行っています。
- ・自分で目標を決めます。自分のことは、できるだけ自分でしています。必要な時に支援を依頼して、集団の中で生活できる力を身に付けていきます。
- ・余暇時間には、テレビを見たりおしゃべりしたり、好きなことをして過ごします。夕食までの時間は、体育館でスポーツをするなど体を動かして遊ぶこともできます。
- ・体験入舎も始めます。見学や相談は随時受け付けています。

岡山県立岡山西支援学校

学部を超えた教育活動の連携（キャリア教育） 作業学習で製作した商品のコラボレーション （中学部・高等部の取組）

取組等の概要



高等部園芸班
シャインマスカット



高等部木工班
桐製の箱



高等部布工班
さをり織りの紐



中学部紙工班
紙すき和紙ののし紙



完成品
「西支援の宝石箱」

○取組の目標

- ・他学部や他学年、他グループの活動内容を知ることによって、お互いを認め、生徒や教職員のモチベーションを上げることができる。
- ・様々な学習グループで製作された製品を組み合わせ、新たな価値を生み出し、販売することで、本校の教育活動を地域社会へ発信することができる。

○取組の特徴

- ・シャインマスカットをいかに見栄え良く梱包して、商品価値を高めるかについて、それぞれの学習グループで考える場面を設けた。

○取組の概要

- ・お世話になっている地域の公民館へ代表生徒が贈呈したり、保護者や教職員へ販売したりした。商品として好評をいただき、来年へ向けての意欲向上につながった。

岡山県立岡山東支援学校



笑顔とともに届けます

～地域とつながり、地域の中で育つひがしっ子～

取組等の概要



岡山市中区役所での販売活動



福祉事業所との共同作業



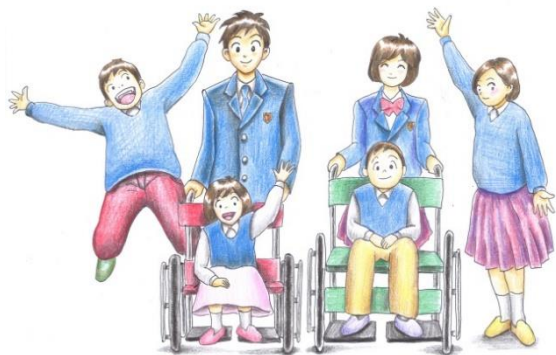
地域の方との交通安全啓発運動

東岡山駅北に位置する本校は、平成9年に開校し、肢体不自由部門と知的障害部門の二つの部門に分かれています。知的障害部門高等部では、作業学習で製作した製品や収穫した農作物を、地域のご協力をいただきながら販売しています。

平成30年度から取り組んでいる「福学連携モデル事業」は3年目を迎え、福祉事業所の方と共に実習地で作業をしたり、販売活動を行ったりしています。先輩たちの姿から「働くこと」を学んでいます。

生徒会では、地域の方と一緒に活動に取り組み、安全で安心な学校を目指して活動しています。

地域とつながり、地域の方とのかかわり合いを大切にしながら、生徒一人一人の自立と社会参加を目指します。



目指すひがしっ子姿

教育目標

一人一人の教育的ニーズをもとに、能力・特性に応じた教育を行い、主体的な取組をとってその可能性を最大限に伸ばし、積極的に社会に参加して豊かで充実した人生を送る人間を育成する。

元気な子

がんばる子

つながる子

岡山県立岡山南支援学校

地域とつながって学ぶ ～地域型実習と地域連携～



取組等の概要



実習での近隣の溝掃除



総合サービス班による妹尾
駅での清掃活動



地域の民生委員との交流会

本校は、岡山市の南部に位置し、知的障害のある児童生徒が学んでいる特別支援学校です。「やさしく、強く、たくましく、そして心豊かに」の校訓のもと、児童生徒一人一人の自立と社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、教育活動に取り組んでいます。

○取組の目標

地域と連携した学習を通して、多様な体験と様々な人との関わりを充実させ、地域社会に貢献する児童生徒を育成します。

○取組の内容

「社会に開かれた教育課程」として地域とのつながりを大切にし、地域資源の活用や地域との連携による学習活動に取り組んでいます。

●地域型実習

高等部の作業学習では校内で学習した技能や態度を実際の社会の中에서도発揮できるように、近隣にある駅や病院（隣接のフィットネスを含む）、公民館などの地域の施設を学習の場として提供していただき、清掃活動や販売活動を行っています。また、地域の事業所の方と協力して近隣施設の溝掃除なども行っています。

●地域と連携した学習活動

近隣の公民館で開催されている講座への参加や地域の民生委員との交流会の開催、近隣の学校との交流及び共同学習等、多様な学習活動を通して、地域の方々に本校の教育活動について理解を深めてもらうとともに、地域社会との関わりを積極的に図るよう取り組んでいます。

岡山県立岡山瀬戸高等支援高校

就労による社会自立

～社会に貢献できる職業人をめざして～

取組等の概要



【ものづくりコース】



【食品コース】

岡山瀬戸高等支援学校は、職業教育に重点を置いた教育課程を編成し、卒業後の就職に向けたより実践的な学習を行っています。

また、企業等における就業体験など学習の場を校外へ広げることで、「社会からの学び」を得られるようにしています。

生徒が、自己の職業適性や将来設計について考えたり、主体的な職業選択能力や勤労意欲を高めたりする機会になっており、将来、社会に貢献できる職業人の育成をめざしています。



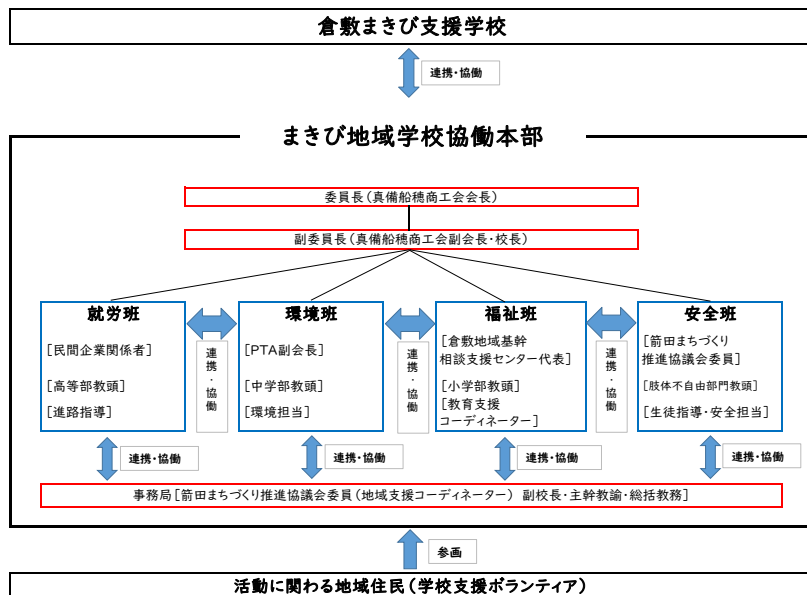
【福祉コース】

岡山県立倉敷まきび支援学校

地域との連携 ～まきび地域学校協働本部～

取組等の概要

○まきび地域学校協働本部の組織



○取組紹介

就労班：事業所参観日

環境班：地域貢献活動
(花植、清掃他)

福祉班：ふくしの参観日
子育てIUP講座
出張相談会

安全班：通学路の安全確保
の見守り

事務局：運営委員会の開催
連携だよりの発行
ボランティア窓口

○実践の様子



事業所参観日(就労班)



真備公園の花植(環境班)



子育てIUP講座(福祉班)

○まとめ

地域との連携を重視した取り組みが本校の特長の一つです。「まきび地域学校協働本部」を設置し、環境班、安全班、福祉班、就労班を組織し、各班には地域の関係機関の方が班員になり、各班の活動を展開しています。地域の資源や各関係機関を積極的に活用することを通して、児童生徒の学びや成長を支えとともに、学校を核とした地域づくり、まちづくりに取り組んでいます。

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校

プロに学べ！倉敷琴浦ブラッシュアップ事業 ～専門コースの取組で生徒の就労意欲を向上～

取組等の概要



企業の商品企画から販売までの流れを学ぶ



製品への思いをまとめ、プレゼン（説明）し、プロの方からアドバイスをいただく



○取組の目標

本校の専門コース（家政・流通サービス・環境サービス）の授業における製品の企画・商品製作・広報・販売までの一連の流れにプロの助言をもらいながら、倉敷琴浦高等支援学校のオリジナル製品を製作し、販売していくことを計画します。3つのコースがそれぞれの取組として、生徒が主体的にかかわることにより、生徒の就労意欲の向上を目指し、本校の教育目標である、社会的・職業的自立を目指します。

○取組の特徴

地元企業（デニム縫製、畳縁など）のプロからの助言を受けながら、倉敷琴浦高等支援学校のオリジナル商品開発をしていきます。

生徒企画のオリジナル商品にプロの方がアドバイスしてくれています。

環境サービスコースが作業に使う便利なエプロンを作りたい！と、**家政コース**がデザインや縫製を頑張っています。どんな商品が出来上がるか、それを、どんなパッケージで販売し、どんな風に宣伝しようかと**流通サービスコース**が考え中です。3つのコースがそれぞれ主体的に活動し、今年ならではの販売方法も工夫中です。

自分たちの思いを形にしようと、生徒たちが生き生きと活動しています！倉敷琴浦高等支援学校の活躍にご期待ください！！

Facebookで
情報発信中



岡山県立西備支援学校

地域とつながる教育の推進

取組等の概要



7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	

制作：令和元年西備支援学校小学部

小学部：
児童作品カレンダー配布



中学部：
井原駅での販売活動



高等部：
笠岡市イルミネーション参加

◇取組の目標

- ①地域の人々に児童生徒の活動を紹介し、障害者理解を深める。
- ②地域資源を活用し、社会のつながりの中で児童生徒を育てる。
- ②地域との交流を深め、地域力の活用を推進する。

◇取組の特徴

- ①地域住民や福祉関係機関等へ情報発信し、学校の活性化を図る。
- ②公共施設や、地域まちづくり活動等を通して、住民とのふれあいを広げる。
- ③地域でのボランティア活動を通じて、社会貢献の体験を増やす。

◇取組の概要

- ①小学部：児童が授業で作成した作品でカレンダーを制作し、地域関係機関に配布する。児童の活動を紹介することで、地域の人々の学校への理解が深まり、学校と地域との距離が近くなっている。
- ②中学部：井原駅で、生徒が作業学習で作成した製品を販売する。地域住民とのつながりが広がり、販売学習を通じて自己達成感を得ることができる。
- ③高等部：地域のイルミネーションフェスティバルに参加。地元高校生と協力して企画・運営を行うことで、社会貢献体験を重ね、卒業後も活用できる力の育成となっている。

岡山県健康の森学園支援学校

日本でここだけ！！ 学校と施設が合体

～農福連携で育む施設と一体化したカリキュラム～



取組等の概要



大豆畑の整備
(農産・園芸班)



家畜の餌づくり
(畜産・果樹班)



椎茸の植菌
(林産・家事生活班)

■ 岡山県健康の森学園は・・・

寄宿舎を併設した学校と障害者支援施設が一体となり、児童生徒・利用者・職員が4つの訓練班のいずれかに所属し、基本的な生活訓練や就労に必要な適応訓練などに取り組んでいます。

豊かな大自然に親しみながら集団生活を営んだり、学園行事や学校間交流などを通じて地域の人々と交流を深めたりしながら、児童生徒の自立と社会参加を目指しています。

■ 学園アンテナショップ 「森のおみせ」

- 学園生が育てた農作物や、中・高の生徒たちが作業学習で作った製品を自分たちの手で販売する。
- 農福連携・・・JAによる敷地・建物の提供
- 毎週水曜（施設）、金曜（高等部・中学部）に運営



アンテナショップ
森のおみせ



<http://www.kenmorisien.oka.yama-c.ed.jp/>
<http://www.kenmorisien.oka.yama-c.ed.jp/>



岡山県健康の森学園支援学校facebook
岡山県健康の森学園支援学校facebook

岡山県立東備支援学校

東備「登り窯」で焼く伝統工芸「備前焼」

取組等の概要



○取組の目標

障害のある生徒の「自立と社会参加」をめざし、社会に開かれた教育課程と、作業学習、中でも中学部・高等部合同作業学習「窯業班」では、岡山が誇る備前焼の制作を通して、地域社会に貢献する生徒を育成しています。

○取組の特徴

- 1) 中学部・高等部合同「窯業班」6年間の作業学習を通したもののづくりの喜び・誇り
- 2) 夏と秋の7日間、窯の火を焚き続ける年2回の窯焼成
- 3) 地域の備前焼作家や神社等の社会資源と連携した岡山が誇る備前焼製作と販売を通した自信、人のために取り組む喜び

岡山県立早島支援学校

ICTで「○○する」を自分の力で！ ～ICTを活用した教育活動の充実～



取組等の概要



ドロップトークで
コミュニケーション



スイッチでミシン操作



スイッチで楽器演奏

岡山県南部の早島町に位置する本校は、病弱部門と肢体不自由部門を設置する特別支援学校です。「希望（あかるく）」「友愛（なかよく）」「自立（いきいきと）」を校訓とし、一人一人に合わせた学習をしています。

○取組の目標

一人一人の教育的ニーズに合わせた適切な機器（ICT）や教材・教具を活用することで、病気や肢体不自由からくる一人一人の困難を軽減し、可能性を広げ、「主体的で豊かな学び」をめざします。

○取組の内容

- ①個々の生徒のニーズに合わせた適切な機器や教材・教具の開発・改良・活用（各種スイッチ、コミュニケーションアプリ、トラックボールマウス、タブレット端末、視線入力機器、Web会議システム など）
- ②関西高等学校との連携（電気科の生徒が製作した各種スイッチや改良されたおもちゃの活用）



家庭療養や長期の入院などが必要な児童生徒の学習保障のためのオンライン授業



関西高等学校生徒が製作した機器やおもちゃの改良品

岡山県立誕生寺支援学校

地域に飛び出せ！ 笑顔と汗と希望を胸に！

取組等の概要



知的障害部門 生産コース
『キャリア教育フェア（イオンモール岡山）』での販売活動



知的障害部門 職業コース
地域企業における現場実習



肢体不自由部門
社会福祉協議会と連携した
お弁当の掛け紙作製

○取組の目標

校内での学びを地域で豊かに深めることで、自立し社会参加できる児童生徒を育成しています。

○取組の特徴

地域と結びつき、豊かな学習活動を実践しています。

- 1 地域と協力して運営するアンテナショップ
- 2 地域の方との様々な協働作業



知的障害部門
アンテナショップの販売活動

○取組の概要

私たちの誕生寺支援学校は創立50周年を迎えました。久米南町をはじめ美作地域の方々の温かいまなざしと支援を受けながら、人や社会とのつながりを大切にした取組を、少しずつ発展させてきた歴史のある学校です。

知的障害部門では、「自ら考えて動く」経験を積み重ねられるよう、年間を通してコミュニティワークを行います。肢体不自由部門では、弁当掛け紙の作製や100名を超えるボランティアさんへの年賀状のデザインを通して地域とつながります。JR弓削駅前にあるアンテナショップは本校の特徴的な取組です。地域に愛されている誕生寺支援学校で、一緒に地域で交流を深める活動をしましょう！

アンテナショップ ぜひお越しください。



肢体不自由部門
年賀状のデザイン

岡山県立岡山操山中学校

未来航路とSOZAN国際塾

取組等の概要



理系コンテスト
科学の甲子園ジュニア全国大会（2018）



松柏祭（文化祭）での社会貢献活動
オレンジリボンキャンペーン（2019）

本校は今年度で開校19年目を迎えました。開校当初より、どのように時代が変化してもたくましく生きていける生徒の育成を目指して、総合的な学習の時間を「未来航路プロジェクト」と名付けて課題追究学習を行っています。

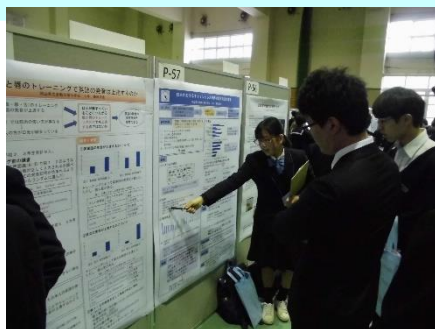
未来航路では、課題の設定から始め、調査・追究を行い、まとめと発表、振り返りまでの一連の活動に取り組んでいます。また、1年生は岡山・倉敷での校外学習、2年生は京都、そして3年生は東京での研修を行い、専門家から貴重な助言をいただくなどして追究内容を深めています。3月には1年間の集大成として各学年の代表による全校発表会も行っています。未来航路で取り組んだことが実際の進路につながった卒業生も数多くおり、多方面で活躍しています。

さらに、平成27年からは、世界で活躍できるグローバル人材を育成することを目標にSOZAN国際塾を立ち上げ、課題研究・国際交流、コミュニケーションスキル、社会貢献活動を3本柱として全校生徒の半数を超える生徒が自主的に活動しています。活動内容はオーストラリアでの海外研修、SOZANワクワクフリー塾などのボランティア、ディベートや英語スピーチ、理系コンテストなど多種多様な活動になっています。授業と課外活動の両輪で、自らの夢を見つけ、高いスキルを身につけたグローバル人材として社会に貢献できる人材を育てています。

岡山県立倉敷天城中学校

「サイエンス」「グローバル」 「AMAKI学」から課題研究へ ～本物に触れ、本物に学び、自分の可能性を広げよう～

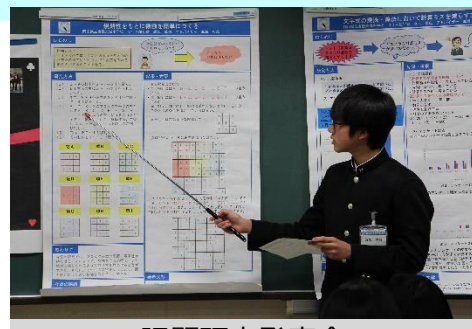
取組等の概要



サイエンスキャッスル関西大会（大阪明星学園 明星中学校・明星高等学校）



横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校との課題研究交流会（本校）



課題研究発表会（本校）

倉敷天城中学校では、確かな学力とともに、課題解決能力、表現力などを身につけさせる学習活動の一環として、2007年の開校以来「課題研究」に取り組んでいます。「課題研究」につなげる取組として「サイエンス」「グローバル」「AMAKI学」という他の中学校にはない独自のプログラムを行っています。その一つの「サイエンス」は学校独自教科として、イギリスのキングスカレッジ校でつくられた「CASE(ケース)プログラム」を使って授業を行い、科学的に考える力を段階的に高めていきます。また、「グローバル」では、つくば言語技術教育研究所がドイツの母国語教育システムを参考に開発した「言葉のワークブック」を使い論理的文章力、論理的プレゼンテーション技術の向上を目指して授業を行い、これからの国際社会に対応できる言語技術能力を伸ばし、国際的な言語センスを身につけます。「AMAKI学」では、「岡山調べ」「職場体験」「学部・学科調べ」を通して、豊かな経験を積みながら調べたことを発表することで自分の「適性」について深く考えていきます。今年度からセカンドステージの取組としてオーストラリアへの短期海外研修を行います。

こうした取組の成果としてサイエンスキャッスル2019関西大会で同志社大学賞、少年の主張全国大会努力賞（県大会最優秀賞）、ユニセフ「子どもスマホサミット」オンライン会議参加、ノートルダムEnglish Speech Contest奨励賞などの成果を収めています。

皆さんも、天城中学校でこんな素敵な体験を、一緒にしませんか。

岡山県立津山中学校

「Be a Challenger」

～可能性への挑戦～

取組等の概要



エクスプレッション



課題研究発表会



科学の甲子園ジュニア全国大会

津山中学校では、「Be a Challenger」を合言葉に、「なぜ」「どうして」という疑問を大切にしながら、自分を乗り越え、自分の可能性に挑戦するいろいろな活動に取り組んでいます。

取組の概要

本校独自の授業「エクスプレッション」では、1年生は身近な地域から視野を広げ、フィールドワークをとおして地域で活動する方との交流を行っています。

2年生では、海外で活躍されている方々や、津山高校の先生方から様々なテーマで講演を聞くなど、「なぜ」「どうして」を追究するもとなる発想力・表現力を磨きます。そして、3年生では、自分で見つけた「なぜ」「どうして」をもとに課題を設定し、仮説を立てて検証し、論文やポスターにまとめて発表する課題研究に、1年間をかけて全員で取り組んでいます。身のまわりでおきていること、部活動や勉強に関わること、身近な生物や植物に関わることなど、いろいろなテーマで謎に挑戦しています。

他にも、本物に触れたり、自分のものの見方・考え方を深めたりする様々な活動に取り組めます。いろいろな活動から自分で見つけた不思議なこと、面白そうなことをもとにして、高校生も参加する科学のコンテストにもチャレンジしたり、全国規模の大会にも出場したりしています。